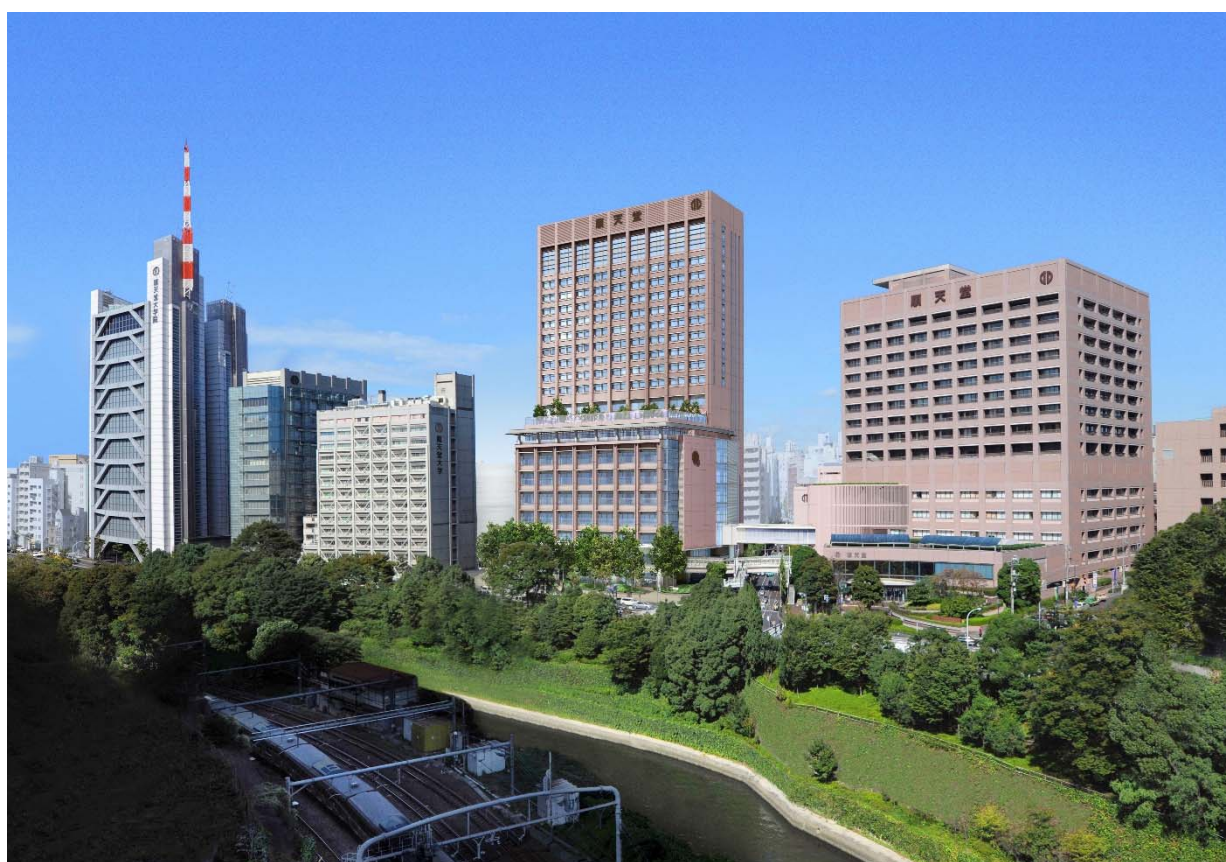


平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)



 学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群

練馬病院
本郷・お茶の水キャンパス
大学・大学院・法人本部
医学部
国際教養学部
3大学院研究科
順天堂医院 (医院の名を継承しています)

順天堂越谷病院

さくらキャンパス
スポーツ健康科学部
(医学部・医療看護学部)
スポーツ健康科学研究科

浦安病院

浦安キャンパス
医療看護学部
医療看護学研究科

三島キャンパス
保健看護学部
医療看護学研究科

静岡病院

**順天堂東京江東
高齢者医療センター**

<http://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章

B 法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2013年 順天堂創立175周年記念

開塾：1838年（天保9年）



順天堂の沿革



順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀(現在の東日本橋2-6-8)に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉(現在の千葉県佐倉市)に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拜命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を行いました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は Juntendo Medical Journal:JMJ として)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院

長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、その本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに開設しました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護婦取締(婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして近年、**第九代堂主(理事長)・小川秀興**は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、

- ①平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- ②平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。
- ③平成19(2007)年、医療看護学部に大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されま

した。

- ④平成 22 (2010) 年、第 4 の学部として保健看護学部 (静岡県三島市) が開設されました。
- ⑤平成 25 (2013) 年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。
- ⑥平成 14 (2002) 年 6 月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成 16 (2004) 年 4 月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第 5 番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- ⑦加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成 17 (2005) 年、順天堂第 6 番目の医学部附属病院「練馬病院」が開設されました。
- ⑧大学内に文部科学省 (文部省) などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として以下のセンター・研究所が設立されました。
 - (1) アトピー疾患研究センター
 - (2) 疾患モデル研究センター
 - (3) 老人性疾患病態・治療研究センター
 - (4) 環境医学研究所
 - (5) 感染制御科学研究センター
 - (6) スポーツ健康医科学研究所
 - (7) スポーツロジックセンター
 - (8) 国際交流センター
 - (9) ゲノム・再生医療センター
 - (10) 難病の診断と治療研究センター
 - (11) 静岡災害医学研究センター
 - (12) 女性スポーツ研究センター
 - (13) 先導的がん医療開発研究センター
- ⑨平成 26 年 12 月国際的に活躍する人材養成を目的として第 5 の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成 27 年 4 月開学し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。

順天堂は、平成 12 (2000) 年、総病床数 2,225 床でありましたが、現在は総病床数 3,230 床となり、日本最大規模の大学附属 6 病院群を配置して強固なネットワークを形成しています。附属 6 病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、学閥・人種・性別の差別のない“三無主義”を掲げ、5 学部 3 研究科 6 附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2016 年 5 月 15 日 (創立記念日)
学校法人 順 天 堂
理事長 小 川 秀 興

1. 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24. 11. 大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
		博士後期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。 平成11. 12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号 平成18. 11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25. 10. 大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18. 12. （財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5. （財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2. （学）順天堂医科大学認可。 昭和26. 6. 順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27. 2. 新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4. 順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6. 体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育学専攻）開設。 昭和46. 1. 体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成 4. 12. スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4. 体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29. 10. 順天堂醫院看護婦講習所開設。 昭和29. 4. 順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3. 同高等看護婦学校開設。 昭和39. 4. 順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51. 11. 順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4. 順天堂医療短期大学開設。 平成15. 11. 医療看護学部設置認可。 平成16. 4. 順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6. 同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6. 保健看護学部設置届出。 平成21. 9. 学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21. 10. 保健師看護師学校指定。 平成22. 4. 保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26. 12. 国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,020床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	562床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	656床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	348床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成 17. 7. 1	400床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,212床	

※病床数は平成28年3月31日現在の稼働数

3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	新井 一	学術フロンティア推進事業	平成 11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 12. 3. 21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 14. 9. 19	小川 秀興
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21 世紀 COE プログラム	平成 15. 4. 1	平松 啓一
研究基盤センター	新井 一	—	平成 15. 10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 17. 10. 1	小川 秀興
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成 19. 4. 24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 25. 10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	新井 一	研究拠点形成費等補助金	平成 25. 11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成 27. 10. 1	佐藤 浩一

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称		修業年限	入学定員	入学者※1	収容定員	在籍者※2・3							
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次		
大学院	医学研究科	修士課程	2 年	20	27	40	49	27 (20)	22 (20)	-	-	-	-
		博士課程	4 年	120	142	460	508	140 (120)	122 (120)	117 (120)	129 (100)	-	-
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	2 年	61	60	122	113	60 (61)	53 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3 年	10	12	30	34	12 (10)	13 (10)	9 (10)	-	-	-
	医療看護学研究科	博士前期課程	2 年	15	21	30	39	20 (15)	19 (15)	-	-	-	-
		博士後期課程	3 年	7	11	14	21	11 (7)	10 (7)	平成 26 年度開設		-	-
大学院 計				233	273	696	764	270 (233)	239 (233)	126 (130)	129 (100)	-	-
学部	医学部 医学科	6 年	127	127	735	737	126 (127)	133 (124)	122 (124)	124 (121)	121 (120)	111 (119)	
	スポーツ健康科学部			330	330	1,320	1,310	330 (330)	325 (330)	329 (330)	326 (330)	-	-
	スポーツ科学科		4 年	190	190	760	753	190 (190)	187 (190)	188 (190)	188 (190)	-	-
	スポーツマネジメント学科		4 年	70	70	280	277	69 (70)	68 (70)	71 (70)	69 (70)	-	-
	健康学科		4 年	70	70	280	280	71 (70)	70 (70)	70 (70)	69 (70)	-	-
	医療看護学部 看護学科	4 年	200	202	800	795	203 (200)	193 (200)	203 (200)	196 (200)	-	-	
	保健看護学部 看護学科	4 年	120	126	480	494	127 (120)	127 (120)	120 (120)	120 (120)	-	-	
	国際教養学部 国際教養学科	4 年	120	124	120	123	123 (120)	平成 27 年度開設		-	-	-	
学部 計				897	909	3,455	3,459	909 (897)	778 (774)	774 (774)	766 (771)	121 (120)	111 (119)

※1. 入学者欄は平成 27 年 4 月に入学した学生数
 ※3. 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※2. 在籍者欄は平成 28 年 3 月 31 日における学生数

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	木南 英紀	学長、国際教養学部長
	新井 一	医学部長、大学院医学研究科長
	加納 實	スポーツ健康科学部長
	植木 純	医療看護学部長
	岡田 隆夫	保健看護学部長
	代田 浩之	順天堂医院長
	三橋 直樹	静岡病院長
	吉田 幸洋	浦安病院長
	津田 裕士	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	特任教授
	梁井 皎	特任教授
	青木 きよ子	大学院医療看護学研究科長
	監事	多田 宏
前田 稔		非常勤
辛島 睦		非常勤
	濱本 英輔	非常勤

6. 評議員

＜選任条項順に記載＞

児島 邦明	吉田 幸洋	高橋 和久	稲田 英一	内藤 久士	小川 薫
工藤 綾子	細谷 芳三	照沼 則子	鳥飼 玖美子	高森 建二	富野 康日己
森近 浩	中澤 真逸	土屋 清子	佐藤 潔	濱野 光之	小川 秀興
木南 英紀	新井 一	加納 實	植木 純	代田 浩之	梁井 皎
多田 宏	佐藤 信紘	岡田 隆夫	前田 稔	宮野 武	新井 平伊
石館 敬三	三橋 直樹	津田 裕士	丸木 親	奥村 康	稲富 恵子
澤木 啓祐	野川 春夫	島内 憲夫	青木 きよ子		(計 40名)

7. 研究科・学部一覧

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士(医科学) 博士(医学)	新井 一
	スポーツ健康科学研究科	修士(スポーツ健康科学) 博士(//)	内藤 久士
	医療看護学研究科	修士(看護学) 博士(//)	青木 きよ子
学部	医学部 医学科	学士(医学)	新井 一
	スポーツ健康科学部	学士(学位名は下記のとおり)	加納 實
	スポーツ科学科	学士(スポーツ科学)	菅波 盛雄
	スポーツマネジメント学科	学士(スポーツマネジメント学)	黒須 充
	健康学科	学士(健康学)	廣澤 正孝
	医療看護学部 看護学科	学士(看護学)	植木 純
	保健看護学部 看護学科	学士(看護学)	岡田 隆夫
国際教養学部 国際教養学科	学士(国際教養学)	木南 英紀	

8. 教職員数

(1) 教員数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	173	14	52	3	45	4	291	135	426
(内訳)									
医学研究科	147	9	49	3	45	4	257	96	353
スポーツ健康科学研究科	14	5	1	0	0	0	20	12	32
医療看護学研究科	12	0	2	0	0	0	14	27	41
学 部	29	103	304	31	395	358	1,220	2,578	3,798
(内訳)									
医 学 部	5	78	270	9	341	349	1,052	2,268	3,320
スポーツ健康科学部	5	17	9	1	18	8	58	155	213
医療看護学部	0	3	15	8	23	0	49	62	111
保健看護学部	9	1	7	11	7	1	36	49	85
国際教養学部	10	4	3	2	6	0	25	44	69
合 計	202	117	356	34	440	362	1,511	2,713	4,224

※上記内、併任教員数

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	139	51	0	35	225
学部本務教員内 大学院併任教員	6	344	5	21	376

教員数合計(本務・併任合計)

	教員数
大学院	802
学 部	4,023

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
615	12	4,061	43	197	4,928

教職員合計
9,153

< 参考：平成 27 年度臨床研修医受入数 (括弧内は平成 27 年度新規受入数) >

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
89 (51)	36 (20)	69 (35)	58 (30)	252 (136)

9. 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費助成事業

研究種目名	新規・継続		採択件数 (件)	直接経費 (千円)		間接経費 (千円)
	新規	継続		新規	継続	
新学術領域研究	新規	3	11	21,600	85,200	25,560
	継続	8		63,600		
基盤研究 (B) (一般)	新規	12	28	52,600	118,200	35,460
	継続	16		65,600		
基盤研究 (C) (一般)	新規	80	233	117,000	279,950	83,985
	継続	153		162,950		
挑戦的萌芽研究	新規	12	34	14,000	32,300	9,690
	継続	22		18,300		
若手研究 (A)	新規	0	2	0	5,100	1,530
	継続	2		5,100		
若手研究 (B)	新規	42	105	54,400	116,300	34,890
	継続	63		61,900		
特別研究員奨励費	新規	4	11	4,800	11,800	1,830
	継続	7		7,000		
研究活動スタート支援	新規	8	15	9,200	16,800	5,040
	継続	7		7,600		
合 計	新規	161	439	273,600	665,650	197,985
	継続	278		392,050		

② 文部科学省：研究拠点形成費等補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	1	104,296	
合 計	1	104,296	

③ 文部科学省：大学改革推進等補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成	1	13,376	
合 計	1	13,376	

④ 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (連携型)	1	14,748	
合計	1	14,748	

⑤ 文部科学省：戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成 23 年度～ 平成 27 年度	アトピー疾患研究センター 池田志孝 副センター長 (教授)	“バリア”に着目したアレルギー疾患の病態解明と治療のための研究拠点の形成
平成 23 年度～ 平成 27 年度	老人性疾患病態・治療研究センター 服部信孝 副センター長 (教授)	細胞・脳機能研究の融合による神経疾患診断・治療法開発拠点の形成
平成 23 年度～ 平成 27 年度	スポーツ健康医科学研究所 木南英紀 所長 (学長)	子どもの健康づくりのためのスポーツ医科学研究拠点の形成
平成 24 年度～ 平成 28 年度	感染制御科学研究センター 平松啓一 センター長 (特任教授)	薬剤耐性感染症の予防・治療のための新技術開発に向けた研究基盤推進
平成 25 年度～ 平成 29 年度	環境医学研究所 高森建二 所長 (特任教授)	難治性“かゆみ”の発症機構解明と予防・治療法開発の研究基盤構築
平成 26 年度～ 平成 30 年度	スポーツロジックセンター 綿田裕孝 センター長補佐 (教授)	骨格筋機能に着目した統合的な介護予防法開発プロジェクト
平成 26 年度～ 平成 30 年度	ゲノム・再生医療センター 新井 一 センター長 (研究科長)	再生技術を用いた生活習慣病の次世代型統合的研究基盤の構築
平成 26 年度～ 平成 30 年度	女性スポーツ研究センター 小笠原悦子 センター長 (教授)	女性スポーツ研究センターにおける女性アスリートコンディショニング管理に関する研究基盤構築
平成 27 年度～ 平成 31 年度	静岡災害医学研究センター 佐藤浩一 センター長 (教授)	大規模災害に対応する包括的医療提供体制構築を目指す統合型研究拠点の形成

⑥ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
厚生労働科学特別研究事業	2	7,801	2,336
難治性疾患等政策研究事業	1	6,930	2,079
合計	3	14,731	4,415

⑦ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	2	62,710	18,810
合計	2	62,710	18,810

(2) 委託費

① 国立研究開発法人日本医療研究開発機構：日本医療研究開発機構研究費

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費等 (千円)
次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	1	27,273	2,727
再生医療実用化研究事業	2	60,507	33,953
難治性疾患実用化研究事業	2	16,538	5,962
腎疾患実用化研究事業	1	10,385	7,615
感染症実用化研究事業	3	8,415	2,525
脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	2	17,000	5,100
革新的先端研究開発支援事業	3	52,000	15,600
医療機器開発推進研究事業	1	12,115	3,635
医療分野研究成果展開事業	1	2,077	623
医薬品等規制調和・評価研究事業	1	4,117	2,883
創薬支援推進事業・創薬総合支援事業	1	64,800	6,480
オーダメイド医療の実現プログラム	2	153,757	15,280
合計	20	428,984	102,383

② 国立研究開発法人科学技術振興機構

プログラム名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	一般管理費 (千円)
革新的研究開発推進プログラム	1	8,200	800
戦略的国際科学技術協力推進事業	1	3,230	320
戦略的創造研究推進事業	1	12,200	2,200
合計	3	23,630	3,320

③ 文部科学省・(国) 科学技術振興機構：研究成果展開事業

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
センターオブイノベーション (COI) プログラム	1	52,100	13,025
合計	1	52,100	13,025

④ (独) 環境再生保全機構

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
第10期 環境保健調査研究	1	5,400	540
合計	1	5,400	540

10. 寄付講座（共同研究講座）

寄付講座名	寄付者	責任者等
プロバイオティクス研究 （ヤクルト）講座	㈱ヤクルト本社	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業㈱	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
漢方医学先端臨床センター （ツムラ寄付講座）	㈱ツムラ	医学研究科 病院管理学 教授 小林 弘幸
加齢制御医学講座	ロート製薬㈱ 新日本製薬㈱ ㈱山田養蜂場本社	医学研究科 免疫学 教授 三宅 幸子
認知症診断・予防・治療学講座	日本メジフィジックス㈱ エーザイ㈱	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
神経変性疾患病態治療探索講座	大日本住友製薬㈱	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
分子糖尿病制御医学講座	MSD㈱	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座（越谷市）	埼玉県越谷市	医学研究科長 新井 一
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業㈱	医学研究科 免疫学 特任教授 奥村 康
運動障害疾患病態研究・治療 講座	日本メドトロニック㈱ 協和発酵キリン㈱ 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ ボストン・サイエンティフィックジャパン㈱ キッセイ薬品工業㈱	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ㈱ 日本ストライカー㈱ ㈱カネカメディクス	医学研究科 脳神経外科学 教授 新井 一
神経疾患病態構造学講座	マイクロダイアグノスティック㈱	医学研究科 特任教授 内山 安男
慢性腎臓病（CKD）集学的治療 研究講座	ノバルティスファーマ㈱ 協和発酵キリン㈱ 興和創薬㈱ 田辺三菱製薬㈱	医学研究科 腎臓内科学 名誉教授 富野康日己
パーキンソン病病態解明研究 講座	大塚製薬㈱	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
電子医療情報管理学講座	富士通㈱	医学研究科長 新井 一
多発性嚢胞腎先進治療学講座	大塚製薬㈱	医学研究科 泌尿器外科学 教授 堀江 重郎

寄付講座名	寄付者	責任者等
多発性硬化症および神経難病 治療・研究講座	水素健康医学ラボ(株) (株)アビスト メロディアン(株) (株)健康家族 大和(株) バイオジェンアイデック・ジャパン(株) 田辺三菱製薬(株) バイエル薬品(株) 小野薬品工業(株) 日本製薬(株) 旭化成メディカル(株) (一社)日本血液製剤機構 MiZ(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
神経再生医療講座	(株)財宝	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
ジェロントロジー ：医学・健康学応用講座	東急不動産(株)	特任教授 佐藤 信紘
心血管睡眠呼吸医学講座	フィリップス・レスピロニクス(同) フクダ電子(株) レスメド(株)	医学研究科 循環器内科学 教 授 代田 浩之
運動器・腫瘍性疾患病態学講座	中外製薬(株) サントリーウエルネス(株) 久光製薬(株) (株)大田胃酸 大正富山医薬品(株)	医学研究科 整形外科・運動器医学 教 授 金子 和夫
乳酸菌生体機能研究講座	(株)明治研究本部	医学研究科 免疫学 特任教授 奥村 康
社会性不妊治療学講座	千葉県浦安市	浦安病院 産婦人科 教 授 吉田 幸洋
神経難病治療開発講座	(非公開)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝

※責任者等の職制は、平成 28 年 3 月 31 日の現職を記載

11. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	入学試験検定料	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	-	-	750,000	20,000
	スポーツ健康科学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000	
	医療看護学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000	
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	2,900,000	※4参照	
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000	-
	スポーツ健康科学部※2	200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	※4参照	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000 ※3	-	1,850,000	※4参照	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000	-	1,850,000	※4参照	
	国際教養学部	300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	※4参照	

※1 入学時のみ

※2 平成25年度スポーツ健康科学部入学者より引き下げを行いました

※3 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

※4 試験形態毎の入学検定料

学部	試験形態	入学検定料
医学部	一般	60,000
	地域枠	
	センター・一般独自併用	
	センター利用	40,000
	国際臨床医・研究医枠	
スポーツ健康科学部	AO	35,000
	推薦（一般推薦、スポーツ推薦）	
	一般推薦＋スポーツ推薦セット出願	55,000
	一般（1学科）	35,000
	〃（2学科）	50,000
	〃（3学科）	65,000
	センター＋一般セット出願（1学科）	55,000
	〃（2学科）	65,000
	〃（3学科）	75,000
	センター利用A方式（センター単独型）	20,000
	〃 B方式（独自併用型）	30,000
〃 C方式（面接型）		
〃 D方式（競技歴型）		

学部	試験形態	入学検定料
医療看護学部	推薦	30,000
	一般	35,000
	センター利用	25,000
	併願（一般、センター利用）	55,000
	〃（一般、センター・独自併用）	
	〃（センター利用、センター・独自併用）	
〃（一般、センター利用、センター・独自併用）	70,000	
保健看護学部	推薦	30,000
	一般	
	センター利用	25,000
	併願（一般、センター利用）	50,000
	〃（一般、センター独自併用）	
	〃（一般、センター利用、センター独自併用）	
国際教養学部	特別（前期、後期、自己推薦型1期、自己推薦型2期）	35,000
	センター利用	
	一般	

12. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

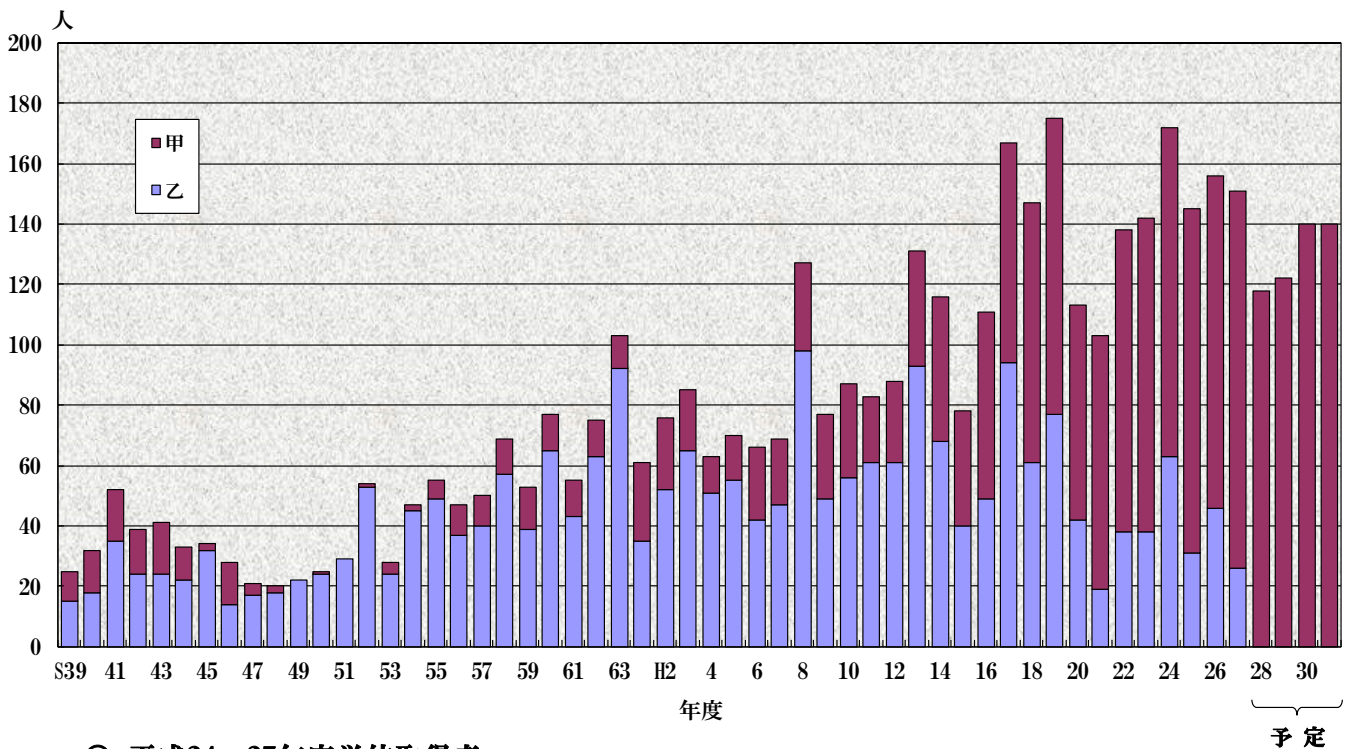
(単位:名)

区 分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	80	100	100	100	
” 入学者数 (”)	120	120	119	138	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	108	114	110	125	平成 27 年度 累計 《1,775》
満期退学後学位取得者数	1	0	0	0	
博士 (医学) 乙 学位記授与数	63	31	46	26	《2,368》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	-	-	20	20	
” 入学者数 (”)	-	-	31	22	
修士 (医科学) 学位記授与数	-	-	30	22	《52》

順天堂大学博士 (医学) 学位授与者数推移

平成28年 3月

甲 1,775号 乙 2,368号 (計:4,143号)



◎ 平成24~27年度学位取得者

甲論文 (英文94.8%) 平均IF ≒ 3.02

乙論文 (英文80.7%) 平均IF ≒ 2.84

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	10	10	10	10	
” 入学者数 (”)	10	7	9	8	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	1	2	6	8	《40》
満期退学後学位取得者数	1	1	2	1	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	3	4	3	3	《16》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
” 入学者数 (”)	57	53	48	51	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	55	48	49	51	《918》

大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	15	15	15	15	
” 入学者数	14	17	15	20	
修士 (看護学) 学位記授与数	14	14	14	18	《125》

13. 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位 (学士)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	94 (28)	90 (33)	111 (29)	108 (36)	医専卒 《 319》 医科大卒 《 89》 学部卒 《4,757》 累計 《5,165》
スポーツ健康科学部		328 (107)	322 (107)	323 (105)	323 (105)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《6,288》 累計 《11,495》
スポーツ科学科	スポーツ科学	188 (53)	188 (53)	185 (54)	186 (52)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	68 (26)	64 (25)	70 (25)	68 (27)	
健康学科	健康学	72 (28)	70 (29)	68 (26)	69 (26)	
医療看護学部 看護学科	看護学	211 (203)	194 (186)	197 (185)	196 (190)	講習所 《1,182》 看護学院 《 29》 准看護婦学院 《 132》 高等看護学校 《 775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《1,591》 累計 《6,379》
保健看護学部 看護学科	看護学	-	114 (111)	118 (110)	120 (107)	累計 《 352》

14. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業者数	
大学院	医学 研究科	博士 課程	大学・研究機関	66名	129名
			医療機関	53名	
			民間企業	2名	
			その他	8名	
		修士 課程	大学・研究機関	1名	22名
			医療機関	5名	
			民間企業	4名	
			進学	11名	
	スポーツ 健康科学 研究科	博士 後期 課程	教員・研究機関	7名	9名
			就職（民間企業・公務員等）	2名	
			その他	0名	
		博士 前期 課程	教員・研究機関	8名	51名
			就職（民間企業・公務員等）	34名	
			進学	6名	
その他			3名		
医療看護学 研究科			大学病院等医療機関・保健医療機関	11名	18名
	教員・研究機関		5名		
	その他		2名		
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院群）	68名	108名	
		〃（他大学医学部附属病院群）	6名		
		〃（大学病院以外の臨床研修指定病院群）	32名		
		その他	2名		
	スポーツ 健康科学部		教員・研究機関	86名	323名
			就職（民間企業・公務員等）	183名	
			進学	47名	
			その他	7名	
	医療看護学部		本学医学部附属病院群	174名	196名
			本学以外の医療機関	15名	
			進学	5名	
			その他	2名	
	保健看護学部		本学医学部附属病院群	76名	120名
			本学以外の医療機関	35名	
			進学	6名	
			その他	3名	

15. 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

国際教養学部の新設

平成 27 年 4 月、本学 5 番目の学部となる国際教養学部国際教養学科（入学定員 120 名）を開設しました。外国語による高いコミュニケーション能力と幅広いリベラルアーツに加えて、医療・医学・スポーツ・健康などの基本的知識を修得し、国際社会で活躍できる人材“グローバル市民”の養成を目指します。（教職：英語科免許（中高 1・2 種免許）課程認定）

アジア大学ランキング 2015、順天堂大学が 3 年連続ランクイン

本学は、英高等教育情報誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション（The Times Higher Education）が発表したアジア諸国の大学ランキングにおいて第 75 位となり、3 年連続 TOP100 にランキングされました。本ランキングは、トムソン・ロイターにより評価され、世界大学ランキングと同じ評価方法に基づき「教育」「国際性」「研究」「イノベーション」「論文引用インパクト」の 5 項目をそれぞれ評価し、その総合点により算出されたポイントを基にランキングされます。2015 年度、日本で 100 位以内にランクインしている大学は 19 校、その中で私立学校は本学を含め 3 校のみです。

Times Higher Education Asia University Rankings Top 100

2013年 日本の22校				2014年 日本の20校				2015年 日本の19校			
日本	大学名	アジア	世界	日本	大学名	アジア	世界	日本	大学名	アジア	世界
1	東京大学	(1)	(27)	1	東京大学	(1)	(23)	1	東京大学	(1)	(23)
2	京都大学	(7)	(54)	2	京都大学	(7)	(52)	2	京都大学	(9)	(59)
3	東京工業大学	(13)	(128)	3	東京工業大学	(13)	(125)	3	東京工業大学	(15)	(125)
4	東北大学	(15)	(137)	4	大阪大学	(15)	(144)	4	大阪大学	(18)	(157)
5	大阪大学	(17)	(147)	5	東北大学	(16)	(150)	5	東北大学	(19)	(165)
6	名古屋大学	(26)	—	6	首都大学東京	(27)	—	6	名古屋大学	(32)	—
7	首都大学東京	(36)	—	7	名古屋大学	(29)	—	7	首都大学東京	(33)	—
8	東京医科歯科大学	(39)	—	8	東京医科歯科大学	(39)	—	8	東京医科歯科大学	(40)	—
9	筑波大学	(42)	—	9	筑波大学	(42)	—	9	筑波大学	(48)	—
10	北海道大学	(44)	—	10	北海道大学	(48)	—	10	九州大学	(58)	—
11	九州大学	(48)	—	11	九州大学	(50)	—	11	早稲田大学	(59)	—
12	慶應義塾大学	(53)	—	12	順天堂大学	(63)	—	12	北海道大学	(63)	—
13	早稲田大学	(57)	—	13	早稲田大学	(64)	—	13	慶應義塾大学	(73)	—
14	順天堂大学	(60)	—	14	大阪市立大学	(71)	—	14	順天堂大学	(75)	—
15	広島大学	(67)	—	15	慶應義塾大学	(72)	—	15	広島大学	(78)	—
16	大阪市立大学	(69)	—	16	広島大学	(74)	—	16	神戸大学	(81)	—
17	神戸大学	(73)	—	17	神戸大学	(88)	—	17	岡山大学	(88)	—
18	千葉大学	(75)	—	18	岡山大学	(94)	—	18	大阪市立大学	(91)	—
19	東京農工大学	(81)	—	19	金沢大学	(96)	—	19	千葉大学	(99)	—
20	岡山大学	(85)	—	20	千葉大学	(98)	—				
21	金沢大学	(96)	—								
〃	横浜国立大学	〃	—								

【出典：Times Higher Educationホームページ・Asia University Rankingsより】

JMOOC 無料オンライン講座の開講

JMOOC 無料オンライン講座「医学・医療の昔・今・これから —生命進化と疾病—」を平成 27 年 6 月に開講しました。JMOOC 初の医学・医療講座となる本講座では、病を持った一般の人の他、医学医療従事者、医療リテラシーを高めたい人及び医療・医学分野志望者を対象とした学習内容で、テーマは「我が国の医学と西洋医学の発展の歴史、病はどのようにして起こるのか（佐藤信紘特任教授）」、「糖尿病のメカニズム（綿田裕孝教授）」、「神経の病気の要因や治療・予防法（服部信孝教授）」、「外科学の最先端：ロボット手術の現状と将来像（堀江重郎教授）」です。平成 27 年 9 月に、本郷・お茶の水キャンパスの教室において、本講座の受講者を対象とした反転授業を開講しました。

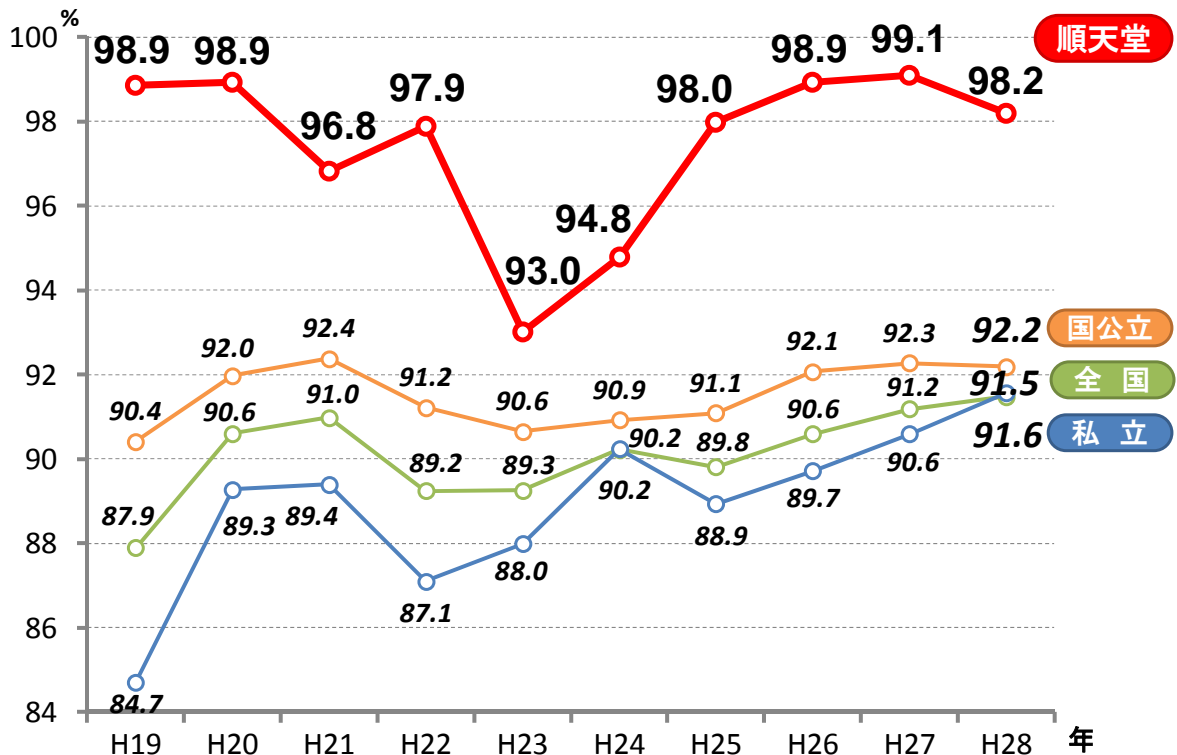
【大学院医学研究科・医学部】

「国際臨床医・研究医枠入学試験」の実施

平成 28 年度入学試験は、前年度に引き続き、国際社会で幅広く活躍する医師を目指す方を対象とする「国際臨床医・研究医枠入学試験」として、A 方式「特別入学試験 (AO 入試)」、B 方式「国際バカロレア入学試験 (AO 入試)」、C 方式「日本人 (帰国子女) 及び外国人 (日本国の永住許可を得ている者) を対象とした入学試験」、D 方式「外国人を対象とした入学試験及び外国人留学生を対象とした転入学試験」を実施しました。

医師国家試験合格率推移

今年度の第 110 回医師国家試験は、学生の努力と卒業支援委員会を中心とした全教員による指導のもと、合格率 98.2% で全国 4 位、直近 10 年間平均では全国 2 位でした。



医学部の入学定員増

平成 27 年 7 月 21 日付、文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成 28 年度医学部入学定員の増加について」を受け、埼玉県との連携を深め地域医療に貢献する医師養成の観点から、入学定員の増員計画 (埼玉県地域枠 3 名) を申請し、平成 27 年 10 月 30 日付で認可されました。これにより、平成 28 年度から医学部入学定員は 127 名から 130 名に増員します。

大学院医学研究科の入学定員増

大学院医学研究科の研究力の向上を図るため、研究基盤を強化し、卒前・卒後 (大学院) 一貫した教育プログラム構築を推進するとともに、近年の入学希望者数増加に対応するため、平成 28 年度から医学専攻 (博士課程) の入学定員を 120 名から 140 名に増員します。

【スポーツ健康科学部】

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ 110 名 (補欠合格・私学含む) が合格しました。うち現役生の合格者数は 40 名に達し、前年度を上回る合格者を輩出することが出来ました。企業就職志望者 161 名の就職内定率は、100% を達成しました。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】
看護師・保健師・助産師国家試験合格率

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	99.5%	94.9%	100%
保健看護学部	96.8%	92.5%	—
全国平均（参考）	89.4%	89.8%	99.8%

専門看護師認定実績

医療看護学研究科修了生6名が専門看護師（CNS）認定試験に合格しました。（慢性疾患看護分野4名、精神看護分野2名）これまでのCNS合格者数は、慢性疾患看護分野13名、がん看護分野5名、老人看護分野1名、小児看護分野2名、感染看護分野2名、精神看護分野2名の合計25名です。

国際交流講演会の開催

平成27年12月2日、浦安キャンパスにて第18回国際交流講演会を開催し、「ストレスマネジメントと生物行動学的フィードバック」をテーマにタイ王国タマサート大学看護学部学部長であるマヤット・ラチット先生の講演が行われました。

OSCEの実施

平成27年9月29日、保健看護学部3年生を対象に、OSCE（客観的臨床能力試験）を実施しました。臨地実習に臨む前に、自身の臨床能力のチェックを目的とするものです。地域の方々にも模擬患者役としてご協力いただき、緊張感に包まれた中で実践的な能力試験を行なうことができました。

【国際教養学部】
国際教養学部 特別講義の開催

リベラルアーツの涵養を図るため、国内外の専門家を招いて特別講義を開催しました。

(1) 平成27年5月13日 国際教養学部開設記念シンポジウム

- | | | |
|-------------------------|-----------------|-------|
| 「順天堂の国際教養とは」 | 学校法人順天堂理事長 | 小川 秀興 |
| 「教養学士の60年：仕事と回顧」 | 元国際連合事務次長 | 明石 康 |
| 「世界に通用する教養とは」 | 東京工業大学教授 | 池上 彰 |
| 「国際教養～純度の高い専門性と社会的包容力～」 | 順天堂大学大学院医学研究科教授 | 樋野 興夫 |

(2) 平成27年10月23日

「異文化と国際交流～両国の相互理解と発展の為に～」

中華人民共和国駐日本国大使館公使参事官 白 剛

(3) 平成27年11月30日・12月21日（全2回）

「日本人の美とこころ」

日本画家 平松 礼二

(4) 平成27年12月5日

「NGOとしての国際緊急医療援助活動の意義」

「国際的人道危機に対して～直面する課題に何ができるか～」

国境なき医師団前会長 黒崎 伸子

(5) 平成27年12月10日

「SDGs 持続可能な成長をどうもたらすのか」

「日本による途上国支援の課題と可能性」

NHK 国際放送局 World News 部 道傳 愛子

16. 臨床活動の主な概要

【順天堂医院】

地域がん診療連携拠点病院

厚生労働省より指定されていた「地域がん診療連携拠点病院」が平成 27 年 4 月 1 日付で更新されました。外科治療・放射線治療・化学療法・緩和ケア等、当院の集学的治療の実施及び地域への貢献が評価されたものです。

倫理委員会の外部評価

国立研究開発法人日本医療研究開発機構の平成 26 年度倫理審査委員会認定制度構築事業において、当院の倫理委員会が一定の倫理性・科学的妥当性を適切に判断する能力を有する倫理審査委員会として、平成 27 年 4 月 1 日付で認定されました。全国 1,330 の倫理委員会のうち、認定を受けたのはわずか 9 件であり、当院の倫理委員会の活動が高く評価されました。

医療情報システムリプレイス

平成 27 年 5 月 2 日～5 日にかけて、医療情報システムの全面リプレイスを実施しました。多職種間で検討を重ねた結果、大きなトラブルもなく移行することが出来ました。

国際認証 (JCI) 取得

平成 27 年 12 月 12 日、国際認証 (Joint Commission International (JCI)) を取得しました。日本の国公立大学附属病院本院としては、第 1 号の認定医療機関となります。JCI は、米国の医療分野における「医療の質と患者の安全に関する継続的な改善」に関する第三者評価認定機関である The Joint Commission の国際部門として 1994 年に設立された非営利組織です。大学病院に対する JCI 認定基準 (Ver. 5) は、16 章 1,218 項目の多岐にわたります。それぞれの評価項目について審査され、認定基準を満たすことにより、国際基準の医療の質、患者安全を担保した医療施設であると認定されます。認定施設は認定後も継続的な改善が求められ、認定期間の 3 年毎に再審査を受け、認定されることで認証が更新されます。

【静岡病院】

増床工事完了

平成 28 年 3 月、25 床増床工事が完了しました。これにより単独の小児病棟 (16 床) が新設され、運用の効率化及び患者利便性の向上を図りました。

リニアック (放射線治療装置) 更新

平成 28 年 3 月、放射線治療室のリニアック (放射線治療装置) を更新し、短時間でより精度の高い治療が可能となりました。

【浦安病院】

リプロダクションセンター設置

平成 27 年 5 月 1 日より、産婦人科、泌尿器科による「リプロダクションセンター」を設置しました。不妊治療の一環として卵子・卵巣凍結保存を行うとともに高度不妊治療を提供します。

医療情報システム導入

平成 27 年 5 月 7 日より、電子カルテシステムを導入し、処理能力の向上と業務の効率化を図りました。

紹介初診予約センター開設

平成 28 年 2 月 1 日より、地域医療連携促進を目的に「紹介初診予約センター」を開設しました。紹介状を持参の患者からの初診予約受付を電話、FAX、Web により行っています。

一般撮影装置更新

平成 28 年 3 月、放射線科・一般撮影装置を従来の CR システムから FPD（フラットパネルディテクタ）へ更新しました。これにより、画質の向上、被爆の低減、データ処理向上による待ち時間の短縮を図りました。

【順天堂越谷病院】

看護補助加算 3 取得

平成 27 年 11 月 1 日付で、2 号館（精神科入院基本料 15：1 病棟）を対象とした施設基準「看護補助加算 3」を取得しました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

防災訓練実施

平成 27 年 9 月に東京都・立川市総合防災訓練を、また平成 28 年 1 月に東京都多摩地域医療活動訓練及び DMAT 関東ブロック訓練を行いました。多摩直下地震と同程度（M7.3、冬 18 時、風速 8m/s）の地震を想定し、当センターに各地区から DMAT 隊が参集し、患者搬送や人的物的被害状況収集の訓練を行いました。

増床計画の推進

平成 27 年 11 月 25 日付で、東京都より 56 床増床に関する開設許可事項一部変更許可申請が許可され、増床工事を進めています。

【順天堂練馬病院】

メディカルサポートセンター設置

平成 27 年 4 月 1 日、当院 1 号館 2 階外来にメディカルサポートセンターを設置しました。東京都がん診療連携拠点病院としての役割・機能を拡充することを目的とし、臨床心理士が窓口となり、看護師、薬剤師、栄養士等が多様化する患者家族のニーズに対応し、相談を実施しています。

開院 10 周年記念式典開催

平成 27 年 7 月 1 日、ホテルカデンツァ光が丘にて、開院 10 周年記念式典を開催しました。式典には、練馬区長以下、練馬区関係者等多くの方々に出席頂きました。小川秀興理事長、児島邦明院長による挨拶に始まり、当院の「10 周年の歩み」や院内を紹介したバーチャル映像、武蔵野音楽大学卒業生による声楽により華やかな式典となりました。

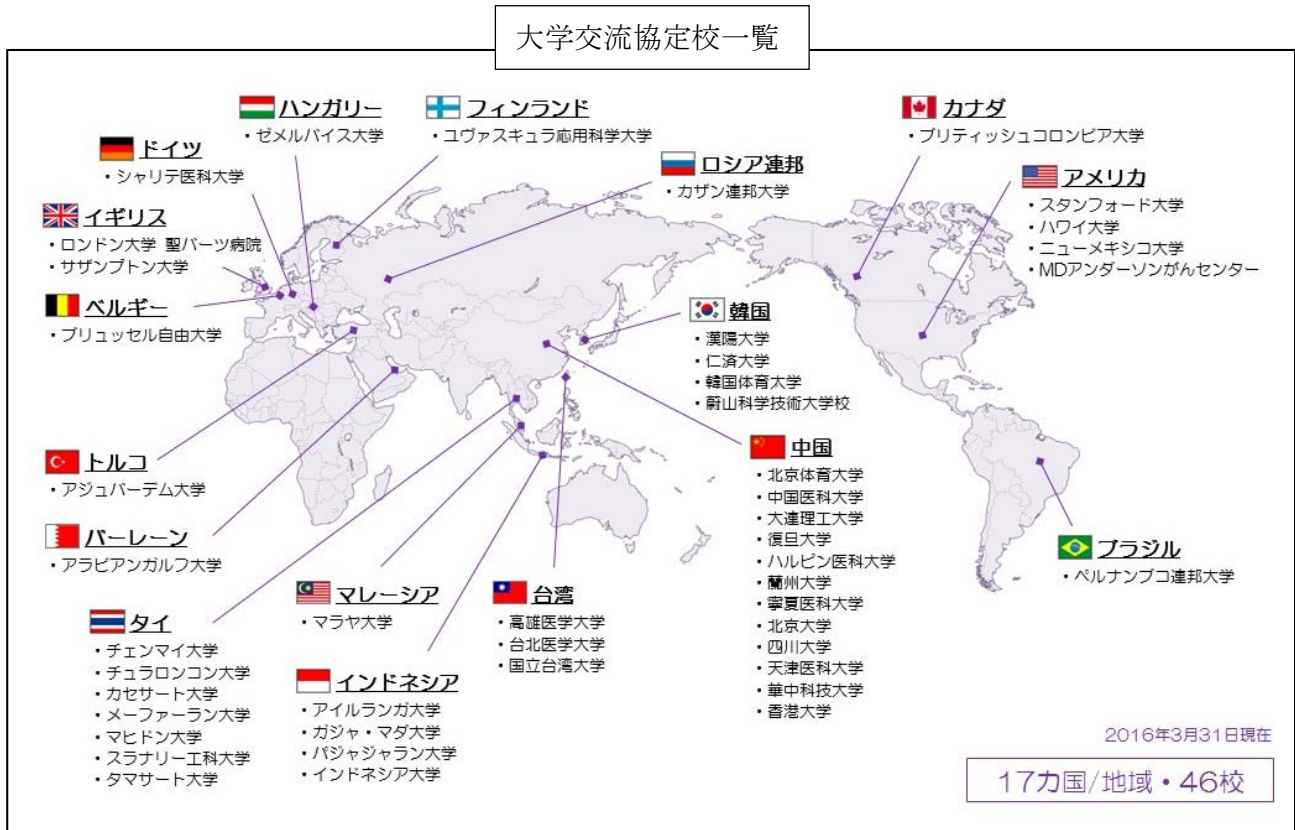
増床計画の推進

平成 27 年 10 月、90 床増床計画に沿って、隣接する石神井東中学校の体育館・プール改築工事が始まりました。また平成 28 年 2 月 17 日には新棟を建設する敷地の借地契約を締結しました。

17. 国際交流活動

【大学交流協定について】

今年度は新たに寧夏医科大学、大連理工大学、ニューメキシコ大学、カザン連邦大学、仁済大学、ブリティッシュコロンビア大学、ユヴァスキュラ応用科学大学と大学交流協定を結び、国際交流協定校は 17 カ国／地域、46 校となりました。



【留学生の研修・交流活動について】

留学生の受け入れは、28 カ国／地域、225 名でした。留学生同士の交流を図るとともに、日本人学生や教職員との交流も積極的に推進しています。

(留学生受入状況)

国／地域名	人数	国／地域名	人数	国／地域名	人数
中国	42 名	フランス	5 名	オマーン	1 名
台湾	42	フィリピン	5	シリア	1
タイ	41	オーストラリア	4	パキスタン	1
インドネシア	17	イタリア	3	バングラデシュ	1
マレーシア	10	エジプト	3	ホンジュラス	1
韓国	9	カンボジア	2	ブラジル	1
イギリス	8	ニュージーランド	2	サウジアラビア	1
シンガポール	7	インド	2	モーリシャス	1
ドイツ	6	アメリカ	2	合計：28 カ国／地域 225 名	
ベトナム	6	アルゼンチン	1		

※学部生、大学院生（修士・博士）、外国人研究生、短期研修生

【学術交流について】

○ 国際学術シンポジウム

平成 27 年 5 月 19 日、スタンフォード大学 David K. Stevenson 小児科教授・前副医学部長を招き、国際学術シンポジウム「スタンフォード大学の医学教育について」を開催しました。医学部生・留学生を含む 75 名が参加し、スタンフォード大学にて学生実習を行った 2 名の研修医からの発表や医学教育システムの違いについて活発な質疑応答が行なわれました。



国際学術シンポジウムの様子

○ Juntendo Medical & Technology Simulation Center

平成 27 年 10 月 7 日、Juntendo Medical & Technology Simulation Center を開所しました。ロシア・カザン連邦大学、理化学研究所の 3 機関でシミュレーション機器ソフトや教育プログラムの共同開発を進め、順天堂大学医学部附属 6 病院の医療スタッフ、医学部生だけでなく、アジアをはじめとする諸外国の医療機関に対してもシミュレーショントレーニングの機会を積極的に提供していくものです。



Juntendo Medical & Technonology Simulation Center
開所式の様子

○ 第 4 回順天堂大学-北京大学国際学術シンポジウム

平成 27 年 11 月 19 日、第 4 回順天堂大学—北京大学国際学術シンポジウムが中国・北京大学にて開催されました。今回のシンポジウムは、小川秀興理事長に対する北京大学名誉教授称号授与式及び記念講演に引き続き開催され、「脳疾患の診断・治療・研究」及び「皮膚疾患の診断・治療・研究」の 2 つのテーマで、2 会場に分かれて研究成果の発表・質疑応答・発展的な意見交換が行なわれ、両大学の活発な研究交流を促進する意義深いものになりました。第 5 回のシンポジウムは平成 28 年度に順天堂大学において開催される予定です。



第 4 回順天堂大学-北京大学
国際学術シンポジウムの様子

18. 大学・産業界・自治体との連携

【大学間連携協定の締結】

・学校法人女子美術大学（平成 27 年 5 月 20 日）

芸術・癒し・デザインの分野に秀でた同大学と医療・健康・スポーツの分野に強みを持つ本学が協定を結んだことで、ヒーリングアート・癒し・スポーツメンタルなどを切り口とした様々な分野・領域での連携協力や新たな取組が期待されます。



・星薬科大学（平成 27 年 9 月 29 日）

両大学の強みを活かし、教育・研究及び社会貢献活動の分野で包括的に緊密な協力関係を築き、連携を深めることにより、学生教育、教職員の質的向上を図るとともに、大学間の交流等を行うことで、人材育成や教育・研究活動の充実、活力ある地域社会への貢献に寄与していきます。

・立命館大学（平成 27 年 10 月 6 日）

両大学の保有する教育・研究資源の更なる有効活用を図ることにより、我が国の健康・幸福寿命の伸延を目指した取組を加速させていきます。

・カザン連邦大学・理化学研究所（平成 27 年 10 月 7 日）

カザン連邦大学、理化学研究所及び本学の 3 機関の有する研究開発力、人材、臨床サンプル・情報などのリソースを活かした連携・協力を推進し、予防医療、先進医療の分野における新たな価値創造、イノベーション創出に取り組んでいきます。開発した新技術や知見を広く国際社会で実用化し、地球規模の課題解決を目指します。



・岡山大学（平成 27 年 12 月 10 日）

両大学がそれぞれの強みや利点を活かして連携協力し、高いレベルの教育・研究・医療を通じて更なる人材育成と国内外での社会貢献を進めていきます。

・明治大学（平成 27 年 12 月 18 日）

教職員及び学生の交流や施設の相互利用などを通じて両大学の教育研究力の更なる向上を図るとともに、法・理工・農学部を有する同大学と医学部を有する本学が互いの特長を活かして社会に貢献していくことを目指します。

・東京藝術大学（平成 28 年 3 月 22 日）

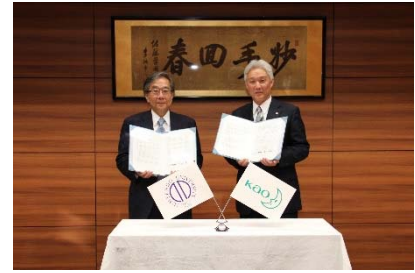
音楽セラピー等の共同研究の推進や解剖・病理分野と美術解剖学における連携、順天堂医院におけるホスピタルアート・ヒーリングアートの展開など、両大学の保有する世界最高水準の教育・研究資源の有効活用を図るとともに、「医学・医療と芸術の融合」による相乗効果を最大化することで医学・芸術両分野の更なる発展を目指します。



【産学連携協定の締結】

・花王株式会社（平成 27 年 6 月 2 日）

「健康を科学する」という共通テーマのもとに互いの研究知見や施設を活用して、オープンイノベーションを推進し、医療・健康分野における基盤研究の連携を強めていきます。現場のニーズに即した革新的な技術開発とその早期実用化を推進し、グローバルなイノベーションの創出を目指します。



・セントラルスポーツ株式会社（平成 27 年 7 月 7 日）

病後及び術後の体力・機能回復や運動指導、病気予防及び原因がよく判っていない疾患などに対する対策などを協同で進め、医療とスポーツの連携・融合を図ることによる健康長寿社会の実現を目的とし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた国際的展開を期して、人材育成の推進や相互支援、施設の相互利用を通じた包括的連携を強化・推進していきます。

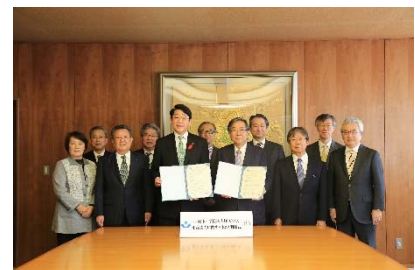
・東急不動産株式会社（平成 27 年 10 月 29 日）

両者が有する資源を有効に活用し、相互の発展を通じて我が国が全世界に先駆けて直面する超高齢社会の課題を解決する新たなプログラムを構築し、健康長寿社会の実現を目指します。

【地方自治体との協定の締結】

・浦安市（平成 27 年 11 月 17 日）

両者はこれまでも医師の派遣や市民公開講座の開催など、様々な面で協力して活動しています。本協定以降も、医療・スポーツ・健康・福祉・育児や教育・研究、生涯学習、まちづくり、人材育成、国際交流など多岐にわたる地域社会の発展に寄与することを目指します。



・川口市（平成 28 年 3 月 25 日）

本学の大学生・大学院生が市立学校の教育現場を体験する機会の確保、その体験を通じて教育活動に協力すること、また市立学校職員と大学教職員の相互交流、研修等の促進、高大接続など、教育の充実・推進及び教員の資質・能力の向上、学生の実践的教育などの協力を図り、人材育成と学校教育の発展に寄与することを目指します。

19. 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業

平成 27 年度文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」の採択件数・配分額は 4 年制私立大学 569 校中第 5 位となりました。今後も全学部が協力・連携して、教育・研究活動を推進し、科学研究費助成事業の申請・採択件数の向上を図ります。

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

平成 27 年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（地方等強化枠）に、静岡災害医学研究センターの研究プロジェクト「大規模災害に対応する包括的医療提供体制構築を目指す統合型研究拠点の形成」が採択されました。

私立学校施設整備費補助金

文部科学省「私立学校施設整備費補助金」に採択され、次の整備事業を実施しました。

(1) 教育・研究装置

- ① 細胞培養装置 BioStationCT 低酸素セット一式
- ② マルチプレックス細胞機能解析装置一式
- ③ 歩行走行動作解析装置一式
- ④ レーザーアブレーション誘導結合プラズマ質量分析装置

(2) ICT 活用推進事業

- ① 順天堂センチュリータワー ICT 化教育基盤整備事業（第 8 期事業）

私立大学等改革総合支援事業

文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の支援対象校に選定され、次の事業を実施しました。

(1) 私立大学等教育研究活性化設備整備事業

- ① キャンパス間連携を取り入れた ICT 活用アクティブ・ラーニング環境整備事業

(2) 教育研究施設

- ① 順天堂ゲノム医学教育研究部門整備事業

(3) 教育装置

- ① 順天堂ゲノム医学医療教育研究装置一式

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」（平成 24 年度採択）が 7 大学（順天堂大学・岩手医科大学・島根大学・鳥取大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）の連携のもと 4 年目を迎えました。各種シンポジウム、市民公開講座、ICT 連携講義、FD 研修会、臨床研究研修会等の様々な活動が行われました。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」に東京医科歯科大学、株式会社ニッピ及びバイオマトリックス研究所と連携して採択されました。今後 6 年の事業期間、更なる女性研究者支援に取り組んでいきます（補助期間は 3 年間）。

COI 拠点採択

平成 25～26 年度の COI（センター・オブ・イノベーション）トライアル拠点で実施したロコモティブシンドローム予防を目指した成果が認められ、平成 27 年度よりビジョンを同じくする立命館大学と一体化した COI 拠点『運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』として採択されました。（補助期間は平成 33 年度まで）

20. 教育研究施設・設備の充実

【本郷・お茶の水キャンパス】

本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業

(1) B棟Ⅱ期（低層棟）建設

平成25年12月に竣工したB棟Ⅰ期工事（高層棟）に引き続き、平成26年10月に着工し、平成28年4月の竣工に向けて建設を進めるB棟Ⅱ期（低層棟）工事は、順調に進行しています。

(2) C棟建設

平成27年1月に着工し、平成28年7月の竣工に向けてC棟工事は順調に進行しています。

(3) 横断歩道橋架け替え工事

地域貢献として進めていた1号館とB棟Ⅱ期（低層棟）間に接道する横断歩道橋架け替え工事は、道路内部分が竣工し、文京区に引き渡しました。

(4) (仮称) 油坂上空通路設置工事

平成27年7月に着工したB棟と大学施設を結ぶ順天堂専用通路工事は、平成28年5月開通に向けて、順調に進行しています。

(5) C棟・D棟連絡通路工事

平成27年10月、C棟とD棟を地上と地下の2カ所で連絡する通路工事に着手しました。地下通路は平成28年7月、地上通路は平成28年11月に完成に向けて順調に進行しています。

(6) (仮称) 新研究棟建設

7号館及び8号館内の研究・教育機能を移転し、解体の準備工事、実施設計を進めています。図書館は「学術メディアセンター」へ名称変更し、センチュリータワー9階へ移転しました。

(7) 教職員寮（レスポワール湯島）完成

平成27年7月末、湯島寮の建替工事が完了しました。利便性が良く、徒歩での通勤も可能で、災害時には帰宅困難な教職員の宿泊施設としても利用可能です。ワンルームタイプ176室の各室内には、家具・家電類、トイレ・洗面室、シャワー室を備えています。また、1階ラウンジには会議や団欒が出来るスペースを設けました。

(建築概要：構造 RC造 地下1階、地上12階建)

センチュリータワー新教室の開設

本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業に伴い、センチュリータワー14階南に教室(1401・1402)を新設しました。

【さくらキャンパス】

陸上競技場全面改修

平成27年5月、陸上競技場の全面改修工事が完了しました。これにより国際陸上競技連盟（IAAF）が定める国際基準「class1」を満たし、国際大会にも対応可能な最高ランクの陸上競技場となりました。

新女子学生寮建設

平成28年1月、新女子学生寮建設工事に着手しました。平成29年2月末完成予定で、本キャンパスでは最高層の8階建となり、約240名を収容することが可能となります。

新体操競技場建設

平成 28 年 3 月、体操競技場の準備工事に着手しました。平成 29 年 3 月竣工に向けて順調に工事が進行しています。

【浦安キャンパス】

大教室棟・演習室棟新築

平成 27 年 12 月に D 棟（大教室棟）と E 棟（演習室棟）が竣工しました。テレビ会議システムを備えた教室が 3 室増え、浦安キャンパスと本郷・お茶の水キャンパス、三島キャンパスを繋いでの遠隔講義に活用されています。

シミュレーショントレーニングシステム導入

平成 27 年 5 月に、分娩介助、産科救急、妊婦ケア教育、乳児の集中治療・ケアなど、周産期医療・小児救急医療についての様々な状況をリアルに再現した高度なシミュレーショントレーニングが行える ICT 教育システムを整備しました。学生がこれらの学習体験を共有するだけでなく、e-ラーニングを活用した振り返り授業を行うことで多面的に経験値が積み上げられるシステムとなっています。

アクティブ・ラーニング環境整備

文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に『キャンパス間連携を取り入れた ICT 活用アクティブ・ラーニング環境整備事業』が採択され、平成 28 年 3 月に、レスポンスアナライザーを活用した遠隔講義システムと CALL 教室・演習室を包括したアクティブ・ラーニング環境を整備しました。

【三島キャンパス】

アクティブ・ラーニング環境整備

文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」の「キャンパス間連携を取り入れた ICT 活用アクティブ・ラーニング環境整備事業」が採択されたことに伴い、浦安キャンパスと三島キャンパス間で、ICT を活用しリアルタイムに映像を通じて学習し討議することが可能になりました。新設機器として PF-NOTE 一式、70 インチの電子黒板、iPad 35 台を 3 月に導入しました。

駐輪場整備

平成 27 年 10 月に約 100 台が収容できる屋根付き駐輪場を整備しました。三島キャンパスでは自転車での通学を許可しており、学生に対する雨天時の利便性を図るため駐輪場に屋根を設置しました。

21. スポーツ分野での活躍

Juntendo International 2015

平成 27 年 8 月、世界陸上競技選手権大会北京大会に出場するアメリカ代表チームの事前キャンプ地として誘致しました。事前キャンプ中の 8 月 15 日には、日本滞在中の海外トップ選手を招いた国際競技大会「Juntendo International 2015」を印西市と共催で開催しました。大学が各国代表選手を集めた国際競技大会を開催するのは国内初の試みとなりました。競技大会開催中は、地元印西市内の小学生や印西市・佐倉市・成田市の中学生を対象にしたイベントも開催し、周辺地域との連携を図ることが出来ました。また、競技大会の運営はスポーツ健康科学研究科、スポーツ健康科学部、国際教養学部の学生が中心となって行い、アメリカ代表チーム及び事前キャンプの誘致窓口である千葉県からも高い評価を受けました。



世界体操競技選手権大会

平成 27 年 10 月に開催された第 46 回世界体操競技選手権大会（グラスゴー）において、日本は団体総合において 37 年ぶりの優勝を果たしました。日本チームの代表として加藤凌平（スポーツ科学科 4 年）、早坂尚人（スポーツ科学科 2 年）、萱和磨（スポーツ科学科 1 年）、田中佑典（平成 24 年卒業・現コナミススポーツクラブ）が出場し、日本の優勝に貢献しました。



写真提供：フォート・キシモト

箱根駅伝シード権獲得

平成 28 年 1 月に開催された第 92 回東京箱根間往復大学駅伝競走において、往路 7 位、復路 8 位、総合 6 位に入賞し、3 年ぶりにシード権を獲得し、駅伝名門校の誇りを示しました。



写真提供：文化工房

部活動の全国大会優勝

体操競技部男子、スカッシュ部女子が全日本インカレで優勝しました。



22. 公開講座

左欄：開催年月日

右欄：講座名・テーマ

[法人・大学]

27. 5. 16	第 336 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
6. 20	第 36 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「進化していくがんの個別化医療」
9. 10	第 337 回順天堂医学会学術集会「プライマリケア外来における興味ある症例」
28. 2. 20	第 37 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「心血管病治療の最前線」
3. 30	第 338 回順天堂医学会学術集会・教授定年退職記念講演会

[大学院医学研究科]

27. 10. 21	平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 がん教育に関する講演会 「がん教育を進めるにあたって」 ～①がんの基礎知識とがん教育の現状／②今後のがん教育のあり方～
------------	---

[順天堂医院]

27. 5. 23	第 15 回 市民公開講座 「免疫と長生き」「がん患者さんの栄養と食事」
6. 20	第 36 回 都民公開講座「進化していくがんの個別化医療」 「がんの個性診断－新しい治療のための必要な知識－」 「がんの遺伝性考慮した診療のあり方を考える」「肺がんの個別化医療の実際」 「大腸がんの個別化医療の実際」「新しい免疫治療」
10. 3	第 7 回 医療連携を共に考える会 「小石川医師会における在宅医療連携について」 「女性アスリート外来の意義とメディカルサポート」 「ロコモ原因疾患としての骨粗鬆症」
12. 5	第 16 回 市民公開講座 「乳腺外来でよく質問されることから」検診・痛み・しこり・石灰化・遺伝 「がんのリハビリテーション」
28. 2. 20	第 8 回 医療連携を共に考える会 「荒川区における看取りについて」「胃がんリスク健診のあり方」 「難聴の診断と治療 特にアブミ骨固着症について」
25	最新の乳がん診断について 「賢く受けよう乳がん検診」 「最新の 3D マンモグラフィー装置（トモシンセシス）について」

[静岡病院]

27. 5. 21	第 34 回市民公開講座 「乳腺疾患について（良性から悪性疾患まで）」～乳腺疾患の診断から治療～
6. 18	第 29 回東部周産期研究会 「胎児心臓超音波検査のコツ（スクリーニングのポイント）」「胎児期血管輪」
27	第 35 回市民公開講座 「こどものこころの不調について」
10. 5	第 36 回市民公開講座 「よくわかるパーキンソン病のはなし」
29	第 30 回東部周産期研究会 「妊娠中の感染症について（TORCH 症候群）」「NCPR ガイドラインの改正点の解説」
11. 30	第 37 回市民公開講座 「高齢者の目の病気について」
12. 21	第 38 回市民公開講座 「新薬で変わる最新の C 型肝炎治療」
28. 1. 29	第 39 回市民公開講座 「患者さんは病院より家に帰りたいー家庭、地域でも支える緩和ケアー」
2. 16	第 40 回市民公開講座 「誰でも、いつでも、どこでもできる 鼻呼吸と腹式呼吸を用いた健康法」
3. 3	第 31 回東部周産期研究会 「帝王切開術の周術期管理～周術期感染対策～」 「新生児の腹部膨満～異なる経過を辿った成熟児の腹満の 2 例～」
28	第 41 回市民公開講座 「産婦人科のがんについて～子宮体癌ってなに？～」

[浦安病院]

27. 4. 22	第 44 回医療連携フォーラム 「心房細動におけるレートコントロールの重要性」 「心臓血管外科手術と心房細動」「男性不妊症について」
25	第 77 回市民公開講座 「前立腺がんの診断と治療」
7. 4	第 78 回市民公開講座 「眼に症状が現れる脳の病気 下垂体腫瘍」
9	第 45 回医療連携フォーラム 「女性アスリート外来での整形外科的サポート」 「ここまでする胃がん・食道がんの外科治療」「最前線の大腸がんの外科治療」
10. 14	第 46 回医療連携フォーラム 「また CKD の話しをします」 「リプロダクションセンター開設について ～私たちがお手伝いできること～」

27. 11. 6	第 47 回医療連携フォーラム（江戸川区医師会） 「がん疼痛治療におけるオピオイドの使い方」 「最新の胃がん・食道がんの外科治療」
17	地域医療セミナー 「血管と健康の関係について」
12. 4	地域医療セミナー 「知っておきたい不整脈」
28. 2. 17	第 48 回医療連携フォーラム（船橋市医師会） 「船橋市における喘息・COPD 患者さんの治療実態について」 「ここまで進んだ 胃がん・食道がんの外科治療」
3. 12	第 79 回市民公開講座 「パーキンソン病に克つ！」
16	第 49 回医療連携フォーラム 「がん免疫療法のオーバービュー」 「順天堂大学における胆・膵診療を振り返って」 「浦安市肺がん検診・28 年 Clinic based lungcancer screening in Urayasu」
20	地域医療セミナー 「脳を守るために知っておきたいこと」

[順天堂越谷病院]

27. 4. 25	第 57 回順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催講演会 「非行少年の実態－精神科医が見た少年院の風景－」
7. 25	第 58 回順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催講演会 「ADHD（注意欠陥多動性障害児：落ち着きがない子供たち）について －大人の ADHD も含めた特徴と対応方法について－」
11. 28	第 59 回順天堂越谷病院・一般財団法人順天堂精神医学研究所共催講演会 「認知症の理解を深める－予防と対策－」
28. 2. 27	みんなで学ぼう。リウマチ交流教室 「リウマチと骨粗しょう症について」「骨粗しょう症の薬について」 「骨にやさしい生活について」「リウマチ患者さんの感染症対策について」

[順天堂東京江東高齢者医療センター]

27. 4. 25	第 1 回区民健康講座「糖尿病治療の新しい展開」
5. 23	第 2 回区民健康講座「女性の多い尿トラブル」
6. 27	第 3 回区民健康講座「胃がんの手術について」
7. 25	第 4 回区民健康講座「あなたのぜん息、きちんとコントロールできていますか？」
9. 18	第 3 回医療連携フォーラム「睡眠時無呼吸症候群の診断と治療」 「突発性正常圧水頭症におけるドパミントランスポーター画像の有用性」 「江東区医師会における ICT を使った多職種ネットワーク構築への取組みについて」
26	第 5 回区民健康講座「なるとこわい脳内出血のお話」

27. 10. 17	第 6 回区民健康講座「認知症の早期診断・早期介入の大切さ」
11. 21	第 7 回区民健康講座「ロコモティブシンドロームを知っていますか？」
12. 19	第 8 回区民健康講座「眼のおはなし」
28. 3. 4	第 4 回医療連携フォーラム「リウマチ性疾患における関節エコーの有用性について」 「慢性肝炎について B 型肝炎、C 型肝炎を中心に」 「江東区医師会 重度在宅リハビリ事業について」

[順天堂練馬病院]

27. 4. 25	区民健康医学講座 「人間ドックのウソ・ホント？画像検査編」
5. 21	医療連携フォーラム 「肺癌の画像診断～単純写真と CT から見えること」
6. 27	区民健康医学講座 「高齢者の健康とスポーツ」
7. 16	医療連携フォーラム 「関節リウマチの最新トピックス～新たな治療戦略」 「腎臓病の食事療法について」
9. 17	医療連携フォーラム 「進行大腸がんの治療戦略」
10. 24	区民健康医学講座 「血管の老化と脳梗塞」 ※練馬区との共催
11. 19	医療連携フォーラム 「せん妄の治療・予防・予測」 「注意すべき耳鼻咽喉科領域の疾患」
28	区民健康医学講座 「「血管を大切にしましょう」その原則」 ※練馬区との共催
12. 19	区民健康医学講座 「目の血管の病気」 ※練馬区との共催
28. 1. 21	医療連携フォーラム 「明日から役立つビタミン D の基礎知識～くる病から骨粗鬆症まで～」
2. 27	区民健康医学講座 「こどもの救急 119 番～急なケガ・病気の時どうすればいいの？」
3. 17	医療連携フォーラム 「最新の心肺蘇生処置の要点～JRC(日本蘇生協議会)蘇生ガイドライン 2015 のご紹介～」 「肺癌の外科治療」

[さくらキャンパス]

27. 5. 2	公開講座「介護・寝たきり（ロコモ）予防のための運動教室」 (5月から9月まで6回開催)
7. 5	公開講座「より速く走るハードリング」
〃	公開講座「理想のフォームは自分のフォーム」

27. 7. 5	公開講座「バレーボール最高」
〃	公開講座「考えるサッカー」
11. 1	公開講座「成長スパートを見逃すな」
〃	公開講座「筋力アップで生涯を幸福に」
〃	公開講座「ヒトをはかる！～身体とこころ～」
〃	公開講座「Functional Movement Screen を体験しよう」
〃	公開講座「野球の数学モデル考えよう」
〃	公開講座「脳と心臓の話」～運動していても、恋をしていても、なぜ心臓はバクバクするのでしょうか」
〃	公開講座「高校バスケットボール公式大会に向けたコーチミーティング」
〃	公開講座「みんなの学校」
〃	公開講座「バレーボールクリニック」
〃	公開講座「チームの雰囲気ガラッと変えるレクリエーションを学ぼう！」
〃	公開講座「英語の Pronunciation Clinic～伝わる英語の話し方～」
〃	公開講座「ノーベル賞級の大発見（新薬発見）が人類を救う」
〃	公開講座「健康・体育教育をのぞいてみよう～日本とモルディブの事例から～」
8	生涯学習公開講座「コーディネーション運動教室」
15	生涯学習公開講座「体操教室」
22	生涯学習公開講座「陸上教室」
24	公開講座「指定管理者制度について（現状と課題）」
29	生涯学習公開講座「サッカー教室」
12. 12	国際シンポジウム「米国におけるアスレティックトレーニング教育およびアスレティックトレーニングの国際化」
28. 3. 28	浦安市公開講座「なわとび教室」

[浦安キャンパス]

27. 7. 18	オープンスクール「最後まで生きることを支える」
19	オープンスクール「在宅看護ってなに？《在宅看護学への招待》」
22	第 24 回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「介護の基本について」
8. 22	オープンスクール「住み慣れた「私の街」で豊かに暮す一病気をもちながら、介護をしながら地域で暮らし続けるための社会資源の活用一」
9. 16	第 25 回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「認知症予防とコミュニケーションの基本」
10. 16	COPD：慢性閉塞性肺疾患 市民公開講座「健康寿命と肺の健康を考えよう」
12. 9	第 26 回順天堂大学医療看護学部市民公開講座 「住み慣れた地域で豊かに生きる～わが街の健康寿命を延ばすために一人ひとりができること～」

[三島キャンパス]

27. 6. 25	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第1回「熱中症について」
8. 23	第6回順天堂大学保健看護学部公開講座 「知っておきたい！災害時、私自身にできること！」
9. 3	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第2回「子どもの事故防止」
10	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第3回「地域の力で、健康（幸）を守る」
17	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第4回「在宅療養する際の工夫・便利なもの：なんでもあるからなんとかなる」
10. 1	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第5回「家庭でできる感染予防」
8	みしま教養セミナー「順天堂大学コース」 第6回「家庭でできる応急手当」
11. 14	図書館講座「健康情報の見極め方—自分の健康をどのように考えるか—」
28	静岡県 大学との連携による地域健康長寿モデル事業 リターンマッチ男塾「男のための心とからだのみがき方」 キックオフセミナー
12. 5	静岡県 大学との連携による地域健康長寿モデル事業 リターンマッチ男塾「男のための心とからだのみがき方」 実践セミナー「体力測定とインナーマッスルの鍛え方」
28. 2. 6	静岡県 大学との連携による地域健康長寿モデル事業 リターンマッチ男塾「男のための心とからだのみがき方」 実践セミナー「体力測定とインナーマッスルの鍛え方」
3. 5	第7回順天堂大学保健看護学部公開講座 「認知症サポーター養成講座 困っている高齢者に声をかけてみよう！」

[男女共同参画推進室]

28. 1. 23	第5回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム 「医学領域のガラスの天井をすり抜けて」～女性活躍の量的拡大から質的拡充へ～
-----------	--



23. 社会貢献・地域交流・ボランティア活動

左欄：開催年月日

右欄：活動名

[本郷・お茶の水キャンパス]

27. 4. 12	順天堂交響楽団定期演奏会（川口総合文化センター リリア）
-----------	------------------------------

[順天堂医院]

27. 5. 14	第 94 回関東学生陸上競技対校選手権大会競技委員派遣（5月14日～17日）
6. 16	都立北特別支援学校遠足 医師・看護師派遣
7. 26	小児病棟夏祭り（1号館10階・入院児童および家族）
8. 5	高校生総合学習（宮城県仙台第二高等学校13名参加）
9. 4	文京区心身障害者・児レクリエーション事業医師および看護師派遣（9月6日、9日）
10. 27	都立北特別支援学校遠足 医師・看護師派遣
28	都立高島特別支援学校宿泊行事 医師派遣（～30日）
11. 20	東京消防庁「第44期救急救命士養成課程研修」講師派遣
12. 6	第33回JBMA神宮外苑ロードレース 医師・看護師派遣

[静岡病院]

27. 5. 14	中学生職場体験（伊豆の国市立長岡中学校2名参加）
20	中学生職場体験（～22日）（伊豆の国市立葦山中学校1名参加）
8. 5	高校生1日体験ナース（～6日）（5日27名、6日30名参加）

[浦安病院]

27. 6. 10	浦安市学校等における医療的ケア検討委員会に看護師2名派遣 （7月22日、11月12日、1月25日も派遣）
7. 24	ふれあい看護体験（千葉県看護協会主催、高校生6名受入、10月30日も開催）
28	浦安市社会性不妊治療研究セミナーに医師1名を派遣（計8回）
11. 4	浦安市夜間路上禁煙運動駅前キャンペーンに参加（新浦安駅前） 浦安市介護認定審査会に看護師1名派遣（年18回） 浦安市発達センター嘱託医に小児科医師1名を派遣

[順天堂越谷病院]

28. 3. 12	桜井地区民生委員・児童委員協議会主催 「現場を知る看護師が語る『認知症看護の実態とかかわり』」の講演会に講師（看護師）を派遣
-----------	---

[順天堂東京江東高齢者医療センター]

27. 7. 22	一日看護体験学習（桐朋女子高等学校 1 名）
29	第 35 回江東シーサイドマラソン大会（救護依頼）
10. 28	修学旅行の緊急時対応（救護依頼 和歌山県立たちばな支援学校）
28. 2. 29	東京マラソン 2016（救護依頼）

[順天堂練馬病院]

27. 8. 8	C-cube プロジェクト（練馬区南田中小学校・石神井東小学校 37 名参加）
10. 6	中学生職場体験学習（練馬区立南ヶ丘中学校 2 名参加）
11. 6	中学生職場体験学習（練馬区立光が丘第二中学校 2 名参加）
28. 3. 27	練馬こぶしハーフマラソン 2016（救護体制への応援）

[さくらキャンパス]

27. 4. 11	文京ジュニアアスリートアカデミー（講習会・記録会 6 回開催）
13	順天堂大学陸上競技記録会（中学生から一般、4 月から 3 月まで 11 回開催）
〃	順天堂大学体操教室（4 月から 3 月まで毎週日曜日開催）
5. 1	成田市生活困窮世帯学修支援（5 月から 2 月まで月 2 回開催）
8	成田市シニア健康カレッジ（5 月から 12 月まで月 2 回開催：2 年間）
6. 2	順天堂大学バレーボール教室（6 月から 2 月までの毎週火曜日開催）
6	第 67 回啓心寮祭（～8 日）
17	文京区体力向上指導員派遣（6 月から 3 月までに区立小学校 19 校・延べ 174 回派遣）
27	印西市市民アカデミー
7. 8	白井市バランスウォーキング教室（7 月から 12 月まで 6 回開催）
22	習志野市こども健康大学（7 月～8 月 全 3 回開催）
8. 15	北京世界陸上競技大会事前キャンプ（記録会）
28	文京区体力向上アドバイザー派遣（8 月から 2 月までに区立小学校 17 校・各 1 回派遣）
10. 2	成田市元気アップ教室（10 月から 11 月まで週 1 回 6 回開催）
11	酒々井町スポーツ・レクリエーション祭
11. 21	文京区健康教室「アタマを鍛える運動」
12. 2	富里市小・中学生ジョイントスクール事業
20	文京ジュニアアスリートアカデミー公開講座「スポーツ傷害」
28. 1. 16	文京ジュニアアスリートアカデミー公開講座「子どもの頃にやっておきたいスポーツトレーニング」
23	さかえスポーツフェスタ（1 月 23 日・2 月 28 日サッカー教室、3 月 5 日体操教室）



28. 1. 30	文京区健康教室「賢い子どもを育てるための食事術（栄養学）」
2. 13	文京区健康教室「成長障害—睡眠や運動など、生活習慣と成長を考える—」
21	成田市中学生陸上教室
3. 22	佐倉市出会いフォーラム「あなたのやりがいを見つけよ」

[浦安キャンパス]

27. 5. 22	ごみの散乱防止と資源ごみの再資源化普及啓発キャンペーンに参加
6. 10	自転車無盗難推進キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5に参加
7. 9	夏季防犯キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5に参加
8. 24	うらやすこども大学 市内在住の小学4~6年生に「ひと・こころの不思議」をテーマに講義
28	福島でのテディベアクリニックサークル活動 被災地ボランティア「遊びの教室」
10. 1	赤い羽根共同募金（街頭募金）に協力
11	浦安高洲公民会文化祭に駅伝応援部が参加（チアリーディング・ブラスバンド）
16	喫煙マナー向上・ポイ捨て防止合同キャンペーン 駅前での啓発活動に学生が参加
17	第25回順華祭「常笑喜流」（～18日）
18	自転車盗難防止キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5に参加
11. 25	自転車盗難防止キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5に参加
30	スクエアステップ講演と体験会（浦安市会予防事業に講師派遣）
12. 5	浦安市障がい者週間イベントに駅伝応援部が参加（チアリーディング・ブラスバンド）
8	歳末特別警戒防犯活動・冬の交通安全運動合同キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5に参加
4~12月	海園の街保育園子育て支援センターハミングにて学生が育児支援、育児相談、身体測定等の補助を実施（毎週火曜日）
4~3月	浦安子ども支援サークル「UP DRAFT」（生活困窮世帯などの子どもの学習支援）毎週水曜日

[三島キャンパス]

27. 4. 25	第1回大場川クリーン活動（リバーフレンドシップ制度に基づく学生清掃ボランティア活動、27年度は全6回実施）
6. 3	大場川クリーン活動団体による平成27年度環境月間県民大会紹介展示参加
13	三島市生涯学習講座「三島いきいきカレッジ」開講式 学部長講演
25	「みしま教養セミナー（順天堂大学コース）」（三島市主催）プレ講座
28	大場川クリーン活動団体による清掃活動及び地域交流イベント開催（27年度は全2回実施）
7. 10	富士山御殿場口新5合目「マウントフジトレイルステーション」富士山環境保全活動参加（～9月6日）

27. 8. 3	キャラバン・メイト養成研修会（認知症サポーター養成講座の講師役「キャラバン・メイト」の養成）開催（三島市と共催）
6	家族介護教室（～9月24日 計4回開催）
9. 3	「みしま教養セミナー（順天堂大学コース）」（三島市主催） 市民対象講習会を5名の教員により全5回開催
11	三島市「自殺予防週間」キャンペーン協力（三島駅前での呼びかけ）
23	3年生 OSCE 地域の方々が模擬患者として参加
24	第6回順咲祭「咲～咲かせよう仁の花～」（～25日） 地元住民が多数参加。三島市障がい者支援センターの自主生産品販売ブース設置。
11. 4	三島北高校（旧三島高等女学校）跡地記念碑設置
28	静岡県「大学等との連携による地域健康長寿モデル事業」リターンマッチ男塾「男のための心とからだのみがき方」キックオフセミナー開催 （以後、実践セミナー12月5日、2月6日）
29	三島市大宮町3丁目子供会（子供は地域の宝事業における施設利用協力）
12. 5	キャンドルナイト三島参加（温暖化防止イベントでの学生有志及び吹奏楽部の活動）
14	クリスマスキャロル（静岡病院）病棟・病室訪問
15	「公衆衛生看護活動論Ⅰ」演習で地域の方々が教育ボランティアとして参加
28. 1. 7	「看護援助論」演習で地域の方々が模擬患者として参加
10	第47回三島市成人式記念駅伝大会 教職員チーム出場
2. 14	第9回伊豆マラソン大会 学生・教職員ランナー出場、救護班スタッフ参加
3. 13	三島市「ノルディックウォーキングイベント全国大会」後援及び指導スタッフ派遣、 学生一般参加
24	三島市災害時医療救護体制 救護所設置訓練
その他の活動	三島市高齢者福祉及び介護保険運営懇話会委員派遣 三島警察署協議会委員派遣 三島市「ガーデンシティみしま推進会」参画 三島市「グローバル人材育成都市協議会」参画 地元住民の早朝ウォーキング、休日テニスなどの施設貸出 学校見学受入れ（県立伊豆総合高校、県立榛原高校） 沼津高等専門学校教員派遣（高大連携） 専攻科：医療福祉機器開発工学コース「福祉介護方法論」非常勤講師派遣 特別課程：医用機器開発エンジニア養成プログラム講師派遣

24. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立 175 周年記念事業の一環として取り組み中の大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

① B 棟Ⅱ期（低層棟）建設工事

計画通り平成 28 年 4 月に竣工の予定です。



全景



玄関

② C 棟新築工事

平成 28 年 7 月の竣工へ向けて、工事が順調に進行中です。



全景



1 階外観

③ 新研究棟建設

7 号館、8 号館の跡地に新研究棟を建設します。

7 号館、8 号館の教育・研究機能をセンチュリタワーほかに移転させ、平成 28 年 2 月から 7 号館、8 号館建物の解体工事に入りました。

実施設計を平成 28 年 5 月に完成させ、8 月には新築着工に入る予定です。



外観



歴史ファサード

④ 横断歩道橋架け替え工事

1号館とB棟Ⅱ期（低層棟）間に接道する横断歩道橋の架け替え工事は、平成28年2月末に竣工しました。1号館、B棟低層棟への開通は同4月末の予定です。

⑤ （仮称）油坂上空通路設置工事

B棟低層棟と大学施設を結ぶ順天堂の専用通路は、平成28年5月下旬に開通の予定です。

⑥ センチュリータワー・10号館改修工事

7号館・8号館の移転に伴う大規模な改修工事を進めてきましたが、計画がすべて完了しました。

⑦ 湯島寮新築工事（レスポワール湯島）

平成27年7月竣工しました。



外観



内観

⑧ 土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。

(2) 浦安病院

132床の増床許可を得て、免震構造の地上9階、地下2階の新病棟（3号館）建設計画が進められています。平成27年11月新築着工しました。



外観



内観

(3) 順天堂東京江東高齢者医療センター

一般病床 56 床の増床許可を得て、平成 27 年 12 月に改修工事に着工しました。

(4) 順天堂練馬病院

地域医療の充実を目的に、病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備計画を進めています。

(5) さくらキャンパス

平成 28 年 1 月に女子学生寮の新築工事、平成 28 年 3 月に体操競技場の準備工事に着工しました。



女子学生寮



体操競技場

25. 平成 27 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。平成 26 年度以前の実績は学校法人会計基準改正前の実績のため、一部の科目を組み替えて表示しています。

(1) 資金収支計算書

(収入の部)

単位：百万円

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生納付金収入	7,286	7,269	17
手数料収入	456	450	6
寄付金収入	2,772	2,388	384
補助金収入	7,762	7,836	△ 74
資産売却収入	7,005	241	6,763
付随事業・収益事業収入	2,204	2,751	△ 547
医療収入	132,670	134,172	△ 1,501
受取利息・配当金収入	180	264	△ 84
雑収入	1,964	2,257	△ 293
借入金等収入	3,000	2,680	320
前受金収入	1,751	1,785	△ 34
その他の収入	27,903	27,975	△ 72
資金収入調整勘定	△ 24,501	△ 27,342	2,841
当年度資金収入合計	170,453	162,726	7,727
前年度繰越支払資金	25,549	27,925	△ 2,375
収入の部合計	196,003	190,650	5,352

資金収入は、補正後予算(以下予算という)と比較し、約 77 億円下回りました。

主な要因としては

- ① 再編事業等の工事費が現預金等の取崩しの範囲内に収まったことから、資産売却収入に計上していた有価証券の取崩しを行わなかったこと。
- ② 医療収入の増加等により資金収入調整勘定(期末未収入金等)が増加したことがあげられます。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	54,611	54,796	△ 185
教育研究経費支出	22,059	21,446	613
医療経費支出	50,872	54,211	△ 3,339
管理経費支出	4,772	4,339	432
借入金等利息支出	29	28	1
借入金等返済支出	3,931	3,931	0
施設関係支出	21,113	18,222	2,892
設備関係支出	8,563	7,829	734
資産運用支出	600	3,881	△ 3,281
その他の支出	9,781	9,876	△ 96
予備費	2,142	0	2,142
資金支出調整勘定	△ 9,609	△ 11,150	1,541
当年度資金支出合計	168,864	167,410	1,454
次年度繰越支払資金	27,139	23,240※1	3,898
支出の部合計	196,003	190,650	5,352

資金支出は、予算と比較し約 15 億円下回りました。主な要因としては、

- ① 施設関係支出に計上していた再編予算の一部が次年度に繰り越しとなったこと。
- ② 予備的に計上していた予算を使用しなかったことがあげられます。

再編事業等を自己資金で実施したこと等により当年度資金収支差額は、差引約 47 億円※2 のマイナスとなり、次年度繰越支払資金は約 232 億円※1 となりました。

当年度資金収支差額	1,589	△ 4,684※2	6,273
-----------	-------	-----------	-------

(2) 事業活動収支計算書

単位：百万円

		科 目	H27年度決算	H26年度決算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生納付金	7,269	7,001	267
		手数料	450	459	△ 9
		寄付金	2,353	2,280	73
		経常費等補助金	7,182	6,820	362
		付随事業収入・収益事業収入	2,751	2,448	303
		医療収入	134,172	127,395	6,777
		雑収入	2,281	2,384	△ 104
		教育活動収入 計	156,458	148,787	7,671
	事業活動支出の部	人件費 (退職給与引当金繰入額)	55,320 (2,656)	53,138 (2,643)	2,181 13
		教育研究経費 (減価償却額)	29,522 (8,076)	27,906 (7,680)	1,617 396
		医療経費	54,252	48,839	5,413
		管理経費 (減価償却額)	4,815 (480)	4,932 (426)	△ 116 54
		徴収不能額等	104	162	△ 58
		教育活動支出 計	144,013	134,976	9,037
教育活動収支差額		12,445	13,811	△ 1,367	
教育活動外収支		取事業の活動	受取利息・配当金収入	264	311
	その他の教育活動外収入		0	0	0
	教育活動外収入 計	264	311	△ 47	
	支事業の活動	借入金等利息	28	29	△ 1
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出 計	28	29	△ 1		
教育活動外収支差額	236	282	△ 46		
経常収支差額			12,681	14,093	△ 1,412
特別収支	取事業の活動	資産売却差額	0	2	△ 2
		その他の特別収入	842	428	414
	特別収入 計	842	430	412	
	支事業の活動	資産処分差額	1,285	1,845	△ 560
		その他の特別支出	5	0	5
特別支出 計	1,290	1,845	△ 555		
特別収支差額	△ 448	△ 1,415	968		
予備費			0	0	0
基本金組入前当年度収支差額			12,233	12,678	△ 445
基本金組入額合計			△ 18,986	△ 5,938	△ 13,047
当年度収支差額			△ 6,752	6,740	△ 13,492
前年度繰越収支差額			△ 36,805	△ 44,045	7,240
基本金取崩額			0	500	△ 500
翌年度繰越収支差額			△ 43,557	△ 36,805	△ 6,752
(参考)					
事業活動収入 計			157,564	149,528	8,036
事業活動支出 計			145,331	136,850	8,481

教育活動収入は、約1,565億円となり前年度と比較すると約77億円増加しました。主な要因は以下の通りです。

- ① 国際教養学部開設や医学研究科の定員増による学納金の増加。
- ② 附属病院の診療体制を充実させ高度な医療を提供したこと等による医療収入の増加です。

教育活動支出は、約1,440億円となり、前年度と比較すると約90億円増加しました。主な要因は以下の通りです。

- ① 再編事業実施に伴う建物の取壊しなど一時的な費用による教育研究経費の増加。
- ② 高度な医療実施に伴う高額薬品費支出等による医療経費の増加です。

経常的な収支を表す経常収支差額は、約127億円となり、前年度と比較すると約14億円減少しています。

従来の帰属収支差額にあたる基本金組入前当年度収支差額は約122億円となりました。

従来の消費収支差額にあたる当年度収支差額は再編事業の本格化により基本金の組入額が増加しており、約68億円の支出超過となりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

単位：百万円

科 目	H27年度決算	H26年度決算	増 減
固 定 資 産	175,659	164,078	11,581
有形固定資産	153,695	137,599	16,097
土地	50,615	45,308	5,307
建物	62,026	59,346	2,680
その他の有形固定資産	41,055	32,945	8,110
特定資産	11,576	16,006	△4,430
その他の固定資産	10,388	10,473	△86
流 動 資 産	97,108	95,831	1,277
現金預金	23,240	27,925	△4,684
その他の流動資産	73,868	67,906	5,961
資 産 の 部 合 計	272,767	259,909	12,858

固定資産は、キャンパス及び病院附属施設の再編事業に伴う建替え工事の実施、不動産の取得などにより増加しました。

流動資産のうち現金預金は、固定資産の取得及び短期有価証券への振替により減少しております。

総資産は、前年度より約129億円増加して、約2,728億円となりました。

(負債の部)

科 目	H27年度決算	H26年度決算	増 減
固 定 負 債	28,173	26,829	1,344
長期借入金	85	355	△271
学校債	4,500	3,230	1,270
その他の固定負債	23,588	23,244	345
流 動 負 債	16,512	17,231	△719
短期借入金	271	281	△10
短期学校債	1,410	3,650	△2,240
その他の流動負債	14,831	13,301	1,531
負 債 の 部 合 計	44,685	44,061	625

負債は、約447億円と前年度対比で約6億円の増加となりました。主な要因は、医療経費および施設設備投資など期末未払金の増加によるものです。

(純資産の部)

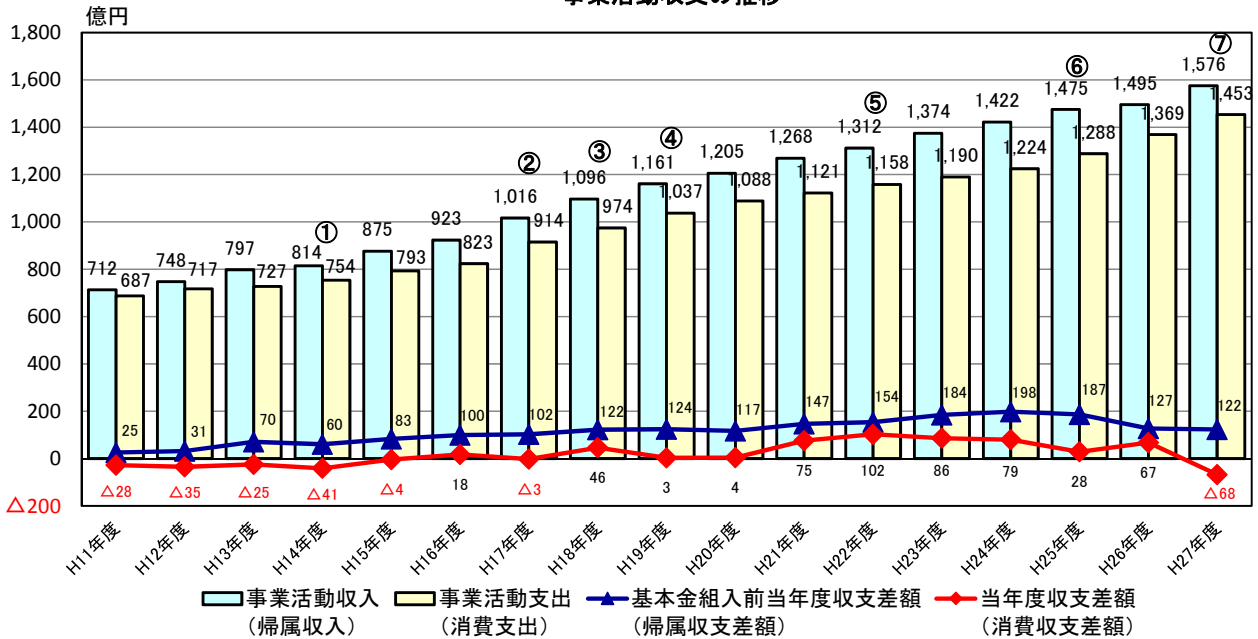
科 目	H27年度決算	H26年度決算	増 減
基本金	271,639	252,654	18,986
第1号基本金	259,538	241,013	18,526
第2号基本金	1,756	1,756	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	10,345	9,885	460
繰越収支差額	△43,557	△36,805	△6,752
翌年度繰越収支差額	△43,557	△36,805	△6,752
純資産の部合計	228,082	215,849	12,233
負債及び純資産の部合計	272,767	259,909	12,858

基本金は、再編事業実施に伴う固定資産取得等により約190億円増加して、約2,716億円となりました。

純資産の部は、基本金組入前当年度収支差額分の約122億円増加して、約2,281億円となりました。

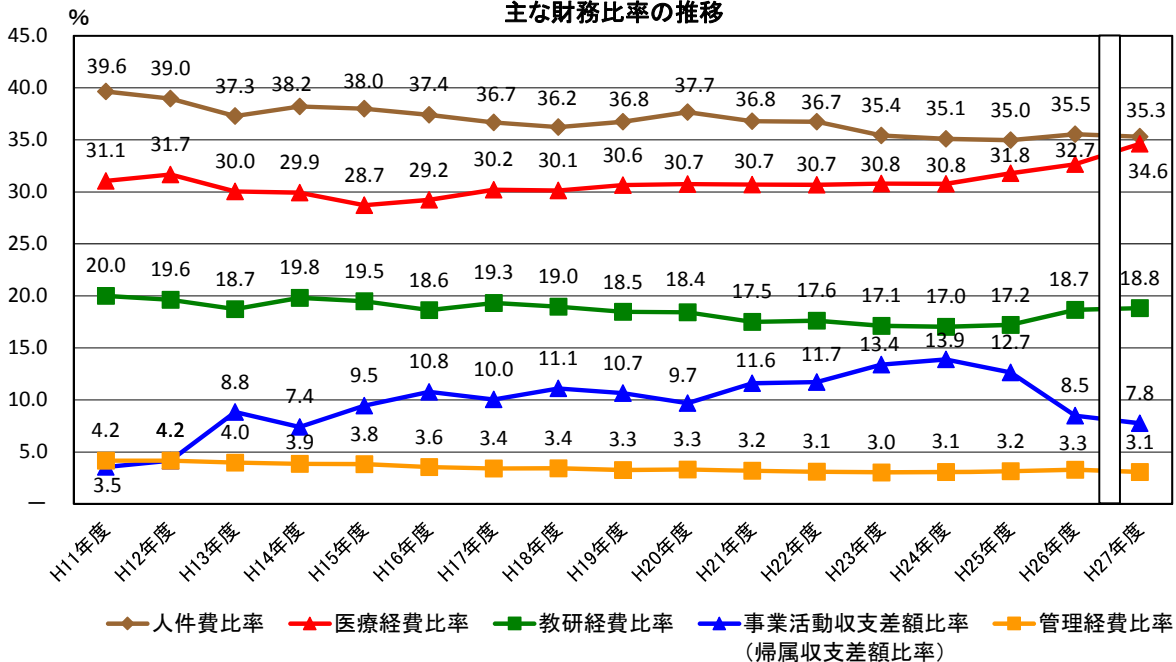
26. 財務状況の推移

事業活動収支の推移

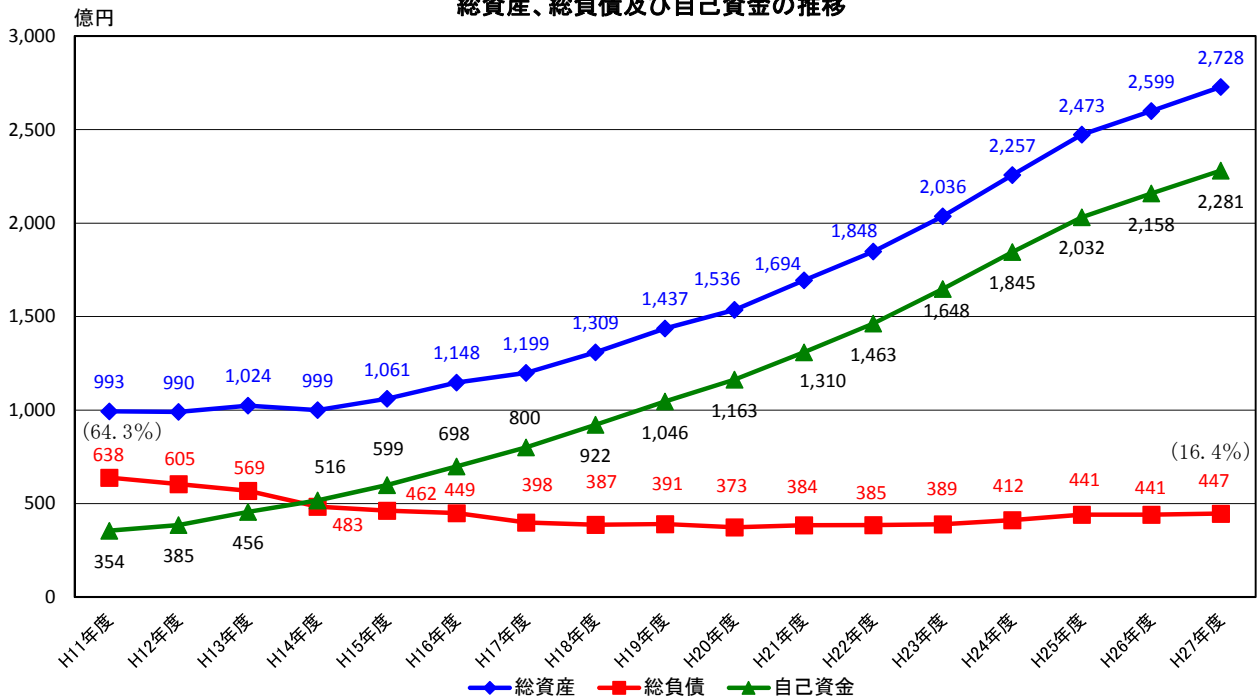


教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。
 ①平成 14 年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院、②平成 17 年度 練馬病院開院、③平成 18 年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、④平成 19 年度 スポーツロジックセンター設立、浦安病院救急救命センター設置、練馬病院 3 号館建設、⑤平成 22 年度 静岡県三島市に保健看護学部を開設、⑥平成 25 年度 順天堂医院 B 棟 I 期竣工、⑦平成 27 年度 本学第 5 番目の学部として国際教養学部を開設いたしました。現在、キャンパス・ホスピタル再編事業を進行していますが、各種プロジェクトの推進及び外部資金の導入等の効果により収支のバランスを崩すことなく推移しております。

主な財務比率の推移



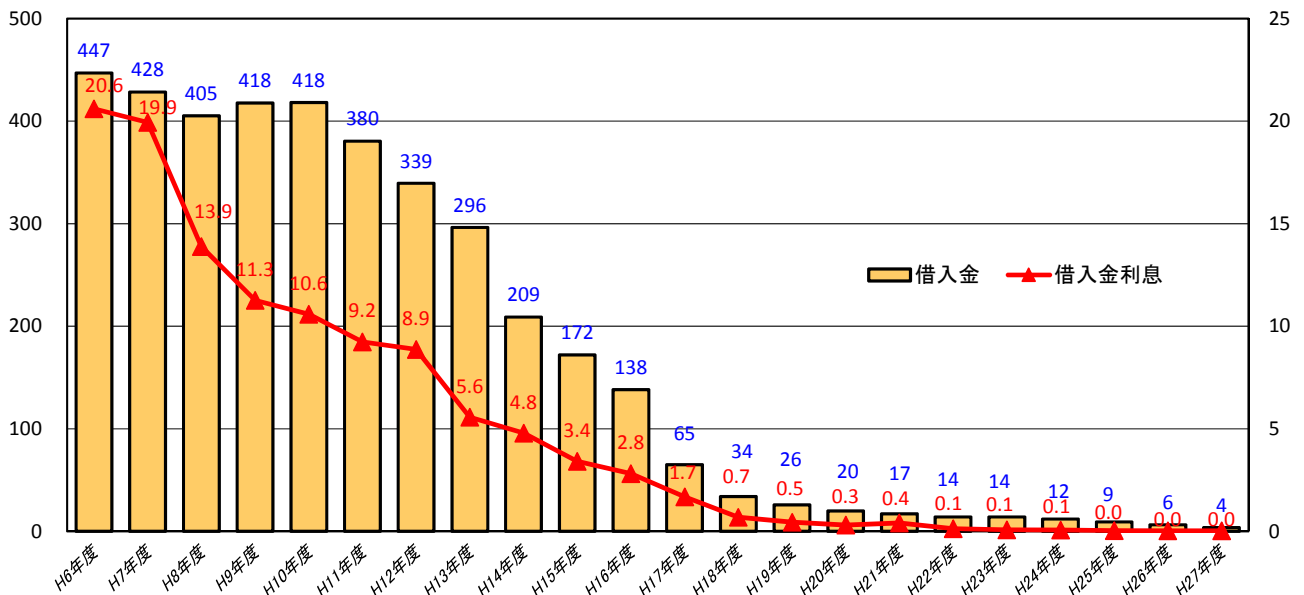
上記は平成 11 年度から平成 27 年度までの財務比率を示しています。平成 27 年度の学校法人会計基準改正に伴い、上記の財務比率のうち事業活動収支差額比率を除く各比率の分母が従来の帰属収入（新基準の事業活動収入）から施設や設備に対する寄付金や補助金等を除いた経常収入に変更されています。そのため 26 年度以前の比率と 27 年度の比率では算出基準が異なります。

総資産、総負債及び自己資金の推移


上記のグラフは総資産、総負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで総負債が自己資金を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒して行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成27年度には16.4%と、大幅に改善しています。

 借入金残高
 単位：億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

 借入金利息
 単位：億円


総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。平成27年度末の金融機関等からの借入金残高は約4億円となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な経営を維持しております。



Juntendo, Tokyo, Established 1838